

台湾に対する意識調査 報告書

2019年12月

一般社団法人中央調査社

目 次

調査の概要	1
問 1. もっとも親しみを感じるアジアの国・地域	2
問 1-1. もっとも親しみを感じるアジアの国・地域（台湾・中国・韓国・タイ以外）	3
問 2. 台湾と聞いて思いつくこと	4
問 3. これまでに台湾に行ったことがあるか	6
問 3-1. これまでに台湾を訪れた回数	7
問 3-2. 最近3年間で台湾に行ったことがあるか	8
問 4. 訪れたことのある場所	10
問 5. 台湾に行きたいか	12
問 6. 台湾に対する興味	13
問 7. 台湾に対する親しみ	15
問 8. 親しみを感じる理由	16
問 9. 親しみを感じない理由	18
問 10. 台湾に関する情報源	19
問 10-1. 台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンル	21
問 11. 台湾に対する信頼	23
問 12. 信頼できる理由	24
問 13. 信頼できない理由	26
問 14. 台北駐日経済文化代表処を知っているか	27
問 15. 日本と台湾の関係をどう思うか	28
問 16. 日本と台湾の関係は将来どうなるか	29
問 17. 日本と台湾の間で最も懸念される問題	30
問 18. 2020年東京オリンピック・パラリンピックでの注目競技	32
問 19. 自然災害時等の日本と台湾双方の政府トップによる SNSを通じたお見舞い発信を知っているか	34
問 20. 友好姉妹都市協定等による日本と台湾間の交流を知っているか	35
問 21. 力を入れて行うべき交流の分野	36
問 22. 青少年交流で促進すべき分野	38
結論	40
調査項目一覧	44
主要質問時系列グラフ（2016年～2019年）	49

◎ 調査の概要

(1) 調査目的

訪台経験や情報源、台湾に関する知識等を問うことを通じて、日本人が台湾に対してどのような意識を持っているかについて明らかにすることを目的とする。

(2) 調査対象

- ① 母集団 日本全国に居住する20歳以上89歳以下の男女
- ② 標本数 1,000人

(3) 調査方法

インターネット調査 (20-79歳)、電話調査 (80-89歳)

(4) 調査期間

インターネット調査 2019年11月15日～11月18日

電話調査 2019年11月16日～11月24日

(5) 標本構成

母集団の構成比に合わせて、下記の通り割付けを行った。

	男性							女性							合計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	
北海道	2	3	3	3	4	3	2	2	3	4	3	4	4	3	43
東北	4	5	6	5	6	5	3	4	5	5	6	7	5	5	71
関東	22	28	35	27	27	22	9	21	26	32	25	27	25	15	341
中部	11	12	16	13	14	11	6	9	11	15	13	15	13	9	168
近畿	11	13	17	13	14	11	6	11	12	17	14	15	14	9	177
中国	3	4	5	5	5	4	2	3	4	5	4	5	5	4	58
四国	2	2	3	2	3	2	1	2	2	3	2	3	2	2	31
九州	6	8	9	9	10	7	4	6	8	9	9	11	9	6	111
合計	61	75	94	77	83	65	33	58	71	90	76	87	77	53	1,000

- 北海道 北海道
- 東北 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 近畿 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(6) 報告書を読む際の注意

インターネット調査では全ての質問への回答を必須としたため、「無回答」は電話調査のみ発生している。

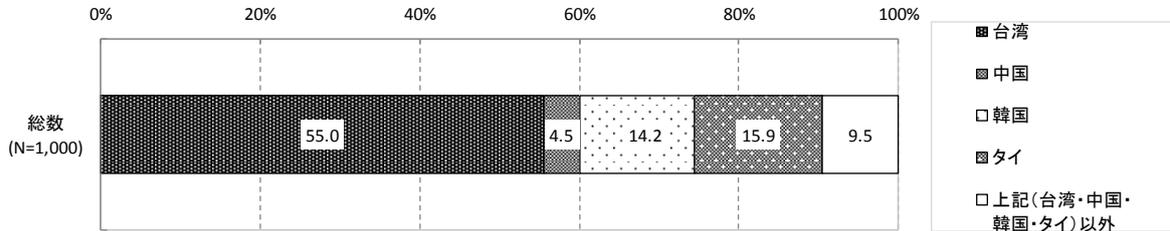
数表には参考値として2018年11月調査における回答パーセンテージを表示しているが、2018年調査と2019年調査で同一の質問および選択肢を用いたもののみ参考値を表示している。

本調査における標本誤差（信頼度95%）は下表のとおりである。

N	回答割合10% または90%	回答割合20% または80%	回答割合30% または70%	回答割合40% または60%	回答割合50%
1000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
800	±2.1	±2.8	±3.2	±3.4	±3.5
600	±2.4	±3.2	±3.7	±3.9	±4.0
400	±2.9	±3.9	±4.5	±4.8	±4.9
200	±4.2	±5.5	±6.4	±6.8	±6.9

もっとも親しみを感じるアジアの国・地域

問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感じるのはどこですか。(答えは1つ)



もっとも親しみを感じるアジアの国・地域を「台湾」、「中国」、「韓国」、「タイ」、「それ以外」の中から選んでもらったところ、「台湾」と答えた者の割合が最も高く、55.0%だった。次いで「タイ」が15.9%、「韓国」が14.2%、「中国」が4.5%の順となっている。

なお、「上記(台湾・中国・韓国・タイ)以外」と答えた者は9.5%だった。

性別にみると、「台湾」と答えたのは男性で59.4%、女性で50.8%となっており、男性のほうが台湾にもっとも親しみを感じている割合が高い。

		総数	台湾	中国	韓国	タイ	上記(台湾・中国・韓国・タイ)以外	無回答
総数		1,000	55.0	4.5	14.2	15.9	9.5	0.9
性別	男性	488	59.4	5.1	7.6	17.4	10.0	0.4
	女性	512	50.8	3.9	20.5	14.5	9.0	1.4
年代	20歳代	119	50.4	7.6	25.2	10.9	5.9	0.0
	30歳代	146	53.4	3.4	21.9	11.6	9.6	0.0
	40歳代	184	58.7	4.3	13.6	16.8	6.5	0.0
	50歳代	153	52.9	3.3	13.7	17.0	13.1	0.0
	60歳代	170	58.2	4.1	9.4	17.6	10.6	0.0
	70歳代	142	61.3	2.1	7.7	15.5	13.4	0.0
	80歳代	86	43.0	9.3	8.1	23.3	5.8	10.5
最終学歴	中学校	39	28.2	17.9	20.5	15.4	7.7	10.3
	高等学校	324	52.2	4.0	17.3	15.7	9.9	0.9
	短大・高専・専門学校	210	56.7	3.3	14.8	13.8	11.4	0.0
	大学・大学院	427	58.8	4.2	11.0	17.1	8.4	0.5
職業	事務職	168	59.5	1.2	13.1	14.3	11.9	0.0
	管理職	75	64.0	4.0	2.7	20.0	9.3	0.0
	専門的・技術職	133	53.4	6.8	10.5	21.8	7.5	0.0
	販売・サービス職	81	58.0	7.4	16.0	12.3	6.2	0.0
	技能・労務職	69	50.7	5.8	26.1	10.1	7.2	0.0
	農林漁業	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	256	50.0	4.3	19.1	13.7	11.3	1.6
	学生	17	52.9	23.5	17.6	5.9	0.0	0.0
	無職	193	55.4	3.1	10.4	19.7	8.8	2.6
地域	北海道	43	67.4	0.0	11.6	16.3	4.7	0.0
	東北	71	63.4	5.6	15.5	8.5	5.6	1.4
	関東	341	54.3	5.0	11.4	17.6	11.1	0.6
	中部	167	49.7	6.0	17.4	18.0	8.4	0.6
	近畿	178	54.5	3.9	15.2	14.6	10.7	1.1
	中国	58	53.4	5.2	19.0	8.6	12.1	1.7
	四国	31	58.1	3.2	3.2	25.8	6.5	3.2
	九州	111	55.9	2.7	17.1	15.3	8.1	0.9
参考: 2018年11月(総数)	1,000	64.7	4.5	17.5	-	12.6	0.7	

(参考値は2018年調査と2019年調査で同一の選択肢を用いたもののみ表示)

もっとも親しみを感じるアジアの国・地域
(台湾・中国・韓国・タイ以外)

問1 付問 (もっとも親しみを感じるのは) 具体的にどの国・地域ですか。

国名	回答者数
シンガポール	13
フィリピン	6
ベトナム	5
インドネシア	4
マレーシア	4
香港	2
カンボジア	1
ミャンマー	1

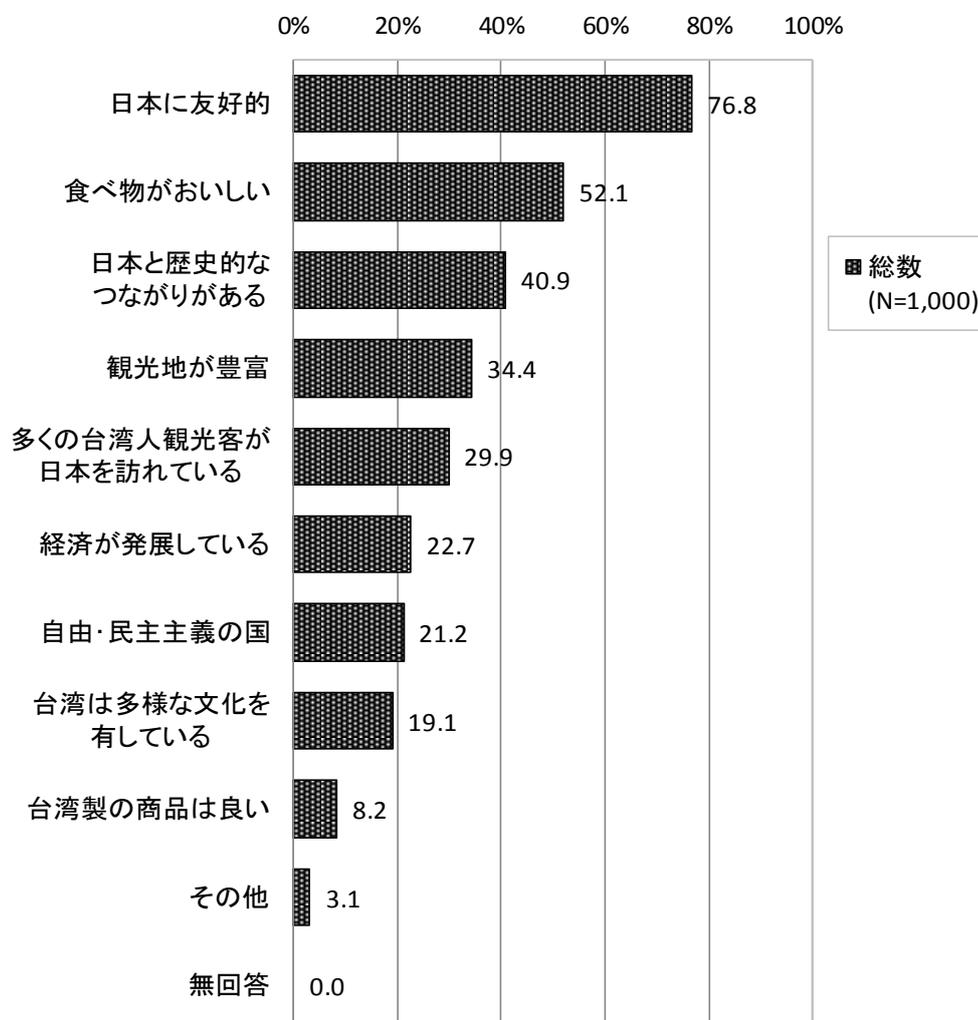
※該当者は 95 名。

※「なし」や複数の国を含む回答（「東南アジア」など）、アジア以外の地域の回答は上記集計から除外している。

もっとも親しみを感じるアジアの国・地域で、「上記（台湾・中国・韓国・タイ）以外」と答えた者に、具体的な国名を聞いたところ、「シンガポール」と答えた者が 13 名で最も多かった。次いで、「フィリピン」6名、「ベトナム」5名、「インドネシア」4名、「マレーシア」4名などとなっている。

台湾と聞いて思いつくこと

問2 あなたが「台湾」と聞いて思いつくことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



「台湾」と聞いて思いつくことを聞いたところ、「日本に友好的」をあげた者の割合が最も高く、76.8%だった。続いて「食べ物がおいしい」が52.1%、「日本と歴史的なつながりがある」が40.9%、「観光地が豊富」34.4%、「多くの台湾人観光客が日本を訪れている」29.9%、「経済が発展している」22.7%、「自由・民主主義の国」21.2%、「台湾は多様な文化を有している」19.1%、「台湾製の製品は良い」8.2%となっている。

性別にみると、男女ともに「日本に友好的」、次いで「食べ物がおいしい」の順に高い。このほかでは、男性では「日本に友好的」、「自由・民主主義の国」、「経済が発展している」をあげた者の割合が女性より高く、女性では「食べ物がおいしい」で男性より高くなっている。

年代別にみると、「日本に友好的」をあげた者はすべての年代で6割台から8割台と最も多い。

		総数	日本に 友好的	自由・民主 主義の国	経済が発 展している	食べ物が おいしい	観光地が 豊富	日本と 歴史的な つながり がある	台湾製の 商品は 良い	多くの台湾 人観光客 が日本を訪 れている
総数		1,000	76.8	21.2	22.7	52.1	34.4	40.9	8.2	29.9
性別	男性	488	82.2	27.7	28.3	47.7	32.0	45.7	11.7	29.3
	女性	512	71.7	15.0	17.4	56.3	36.7	36.3	4.9	30.5
年代	20歳代	119	72.3	11.8	10.9	46.2	35.3	19.3	5.0	21.8
	30歳代	146	68.5	6.2	11.6	54.8	29.5	24.0	5.5	21.9
	40歳代	184	77.7	12.5	15.8	44.6	28.3	32.6	6.5	16.3
	50歳代	153	80.4	19.6	24.2	54.2	32.7	39.2	7.8	23.5
	60歳代	170	74.7	27.1	22.4	50.6	26.5	46.5	6.5	26.5
	70歳代	142	80.3	28.9	26.8	53.5	35.9	57.0	9.9	43.7
	80歳代	86	87.2	57.0	64.0	68.6	70.9	82.6	22.1	79.1
最終 学歴	中学校	39	66.7	23.1	25.6	41.0	48.7	38.5	2.6	43.6
	高等学校	324	77.8	19.8	23.5	53.7	34.3	38.3	9.6	31.2
	短大・高専・専門学校	210	69.5	13.8	18.1	47.6	32.4	34.3	7.1	25.7
	大学・大学院	427	80.6	25.8	24.1	54.1	34.2	46.4	8.2	29.7
職業	事務職	168	78.6	7.1	14.3	48.2	30.4	28.0	2.4	19.0
	管理職	75	81.3	20.0	32.0	49.3	38.7	53.3	8.0	32.0
	専門的・技術職	133	80.5	27.1	20.3	46.6	39.8	47.4	13.5	27.8
	販売・サービス職	81	74.1	19.8	18.5	55.6	34.6	30.9	8.6	24.7
	技能・労務職	69	73.9	15.9	26.1	49.3	24.6	23.2	14.5	23.2
	農林漁業	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
	主婦・主夫	256	71.9	17.6	21.1	54.3	32.4	41.0	4.7	32.0
	学生	17	64.7	11.8	17.6	58.8	41.2	11.8	0.0	17.6
	無職	193	81.3	37.8	31.6	58.0	39.4	55.4	13.0	43.5
	地域	北海道	43	81.4	18.6	20.9	51.2	53.5	46.5	14.0
東北	71	76.1	23.9	21.1	52.1	42.3	35.2	12.7	33.8	
関東	341	78.3	23.2	23.2	54.5	33.4	40.8	8.8	28.7	
中部	167	73.7	19.2	22.2	49.7	33.5	43.1	5.4	29.3	
近畿	178	73.6	20.8	23.0	55.1	28.7	39.9	7.3	29.8	
中国	58	81.0	17.2	25.9	51.7	39.7	46.6	6.9	24.1	
四国	31	77.4	16.1	12.9	45.2	22.6	48.4	9.7	29.0	
九州	111	78.4	21.6	24.3	45.9	36.0	36.0	7.2	29.7	
参考:2018年11月(総数)		1,000	75.9	21.8	24.2	53.0	34.3	43.2	8.7	31.4

		総数	台湾は 多様な文化 を有して いる	その他	無回答
総数		1,000	19.1	3.1	0.0
性別	男性	488	20.7	2.7	0.0
	女性	512	17.6	3.5	0.0
年代	20歳代	119	15.1	2.5	0.0
	30歳代	146	11.6	4.8	0.0
	40歳代	184	11.4	2.2	0.0
	50歳代	153	13.7	2.6	0.0
	60歳代	170	15.3	4.1	0.0
	70歳代	142	28.2	4.2	0.0
	80歳代	86	55.8	0.0	0.0
最終 学歴	中学校	39	25.6	2.6	0.0
	高等学校	324	20.7	2.8	0.0
	短大・高専・専門学校	210	14.8	4.3	0.0
	大学・大学院	427	19.4	2.8	0.0
職業	事務職	168	11.3	3.0	0.0
	管理職	75	14.7	2.7	0.0
	専門的・技術職	133	18.0	3.0	0.0
	販売・サービス職	81	19.8	6.2	0.0
	技能・労務職	69	11.6	5.8	0.0
	農林漁業	3	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	256	20.3	1.2	0.0
	学生	17	17.6	5.9	0.0
	無職	193	30.1	3.6	0.0
	地域	北海道	43	18.6	2.3
東北	71	16.9	2.8	0.0	
関東	341	19.1	2.9	0.0	
中部	167	22.2	4.2	0.0	
近畿	178	15.2	1.7	0.0	
中国	58	24.1	5.2	0.0	
四国	31	16.1	0.0	0.0	
九州	111	20.7	4.5	0.0	
参考:2018年11月(総数)		1,000	-	3.7	0.1

これまでに台湾に行ったことがあるか

問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。(答えは1つ)



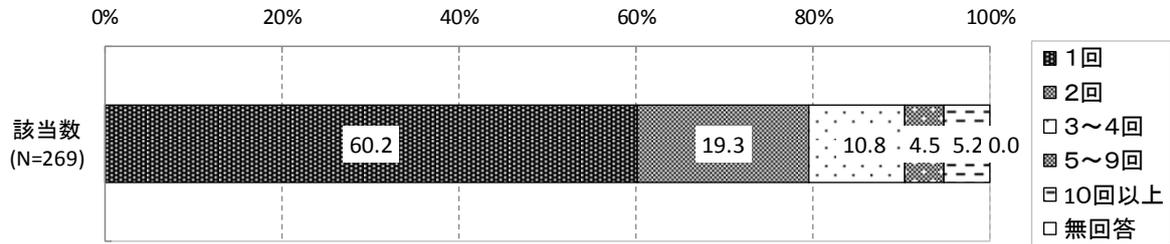
これまでに台湾に行ったことがあるか聞いたところ、「行ったことがある」と答えたのは26.9%、「行ったことがない」と答えたのは73.1%だった。

年代別にみると、「行ったことがある」と答えた者の割合が高かったのは60歳代以上で、3割台となっている。50歳代以下では「行ったことがない」と答えた者の割合が高く、7～8割台となっている。

		総数	ある	ない	無回答
総数		1,000	26.9	73.1	0.0
性別	男性	488	28.3	71.7	0.0
	女性	512	25.6	74.4	0.0
年代	20歳代	119	22.7	77.3	0.0
	30歳代	146	18.5	81.5	0.0
	40歳代	184	27.2	72.8	0.0
	50歳代	153	21.6	78.4	0.0
	60歳代	170	31.2	68.8	0.0
	70歳代	142	35.9	64.1	0.0
	80歳代	86	32.6	67.4	0.0
最終学歴	中学校	39	12.8	87.2	0.0
	高等学校	324	22.2	77.8	0.0
	短大・高専・専門学校	210	17.1	82.9	0.0
	大学・大学院	427	36.5	63.5	0.0
職業	事務職	168	29.8	70.2	0.0
	管理職	75	42.7	57.3	0.0
	専門的・技術職	133	27.8	72.2	0.0
	販売・サービス職	81	18.5	81.5	0.0
	技能・労務職	69	10.1	89.9	0.0
	農林漁業	3	33.3	66.7	0.0
	主婦・主夫	256	21.1	78.9	0.0
	学生	17	29.4	70.6	0.0
無職	193	35.2	64.8	0.0	
地域	北海道	43	20.9	79.1	0.0
	東北	71	18.3	81.7	0.0
	関東	341	32.8	67.2	0.0
	中部	167	19.2	80.8	0.0
	近畿	178	34.3	65.7	0.0
	中国	58	24.1	75.9	0.0
	四国	31	19.4	80.6	0.0
九州	111	19.8	80.2	0.0	
参考:2018年11月(総数)		1,000	28.3	71.7	0.0

これまでに台湾を訪れた回数

問3付問1 あなたは、これまでに何度台湾を訪れましたか。



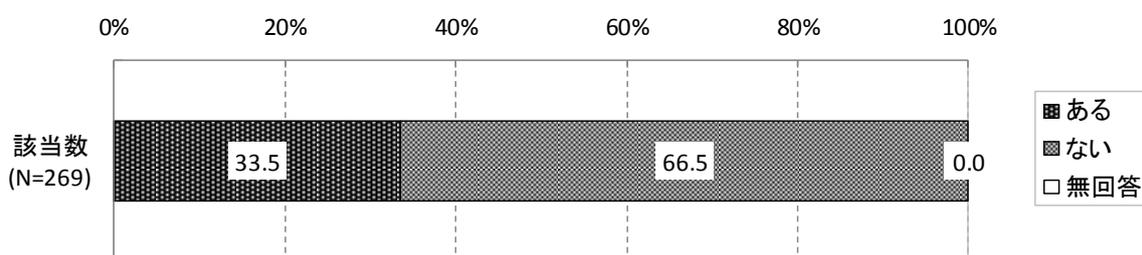
「これまでに台湾に行ったことがある」と答えた者に、訪台回数を聞いたところ、「1回」と答えたのは60.2%、「2回」と答えたのは19.3%、「3～4回」と答えたのは10.8%、「5～9回」と答えたのは4.5%、「10回以上」と答えたのは5.2%だった。

性別にみると、「2回以上」訪れた者は男性で52.2%、女性で26.7%だった。

		該当数	1回	2回	3～4回	5～9回	10回以上	無回答
総数		269	60.2	19.3	10.8	4.5	5.2	0.0
性別	男性	138	47.8	22.5	14.5	6.5	8.7	0.0
	女性	131	73.3	16.0	6.9	2.3	1.5	0.0
年代	20歳代	16	59.3	25.9	14.8	0.0	0.0	0.0
	30歳代	16	59.3	22.2	11.1	3.7	3.7	0.0
	40歳代	36	72.0	12.0	8.0	2.0	6.0	0.0
	50歳代	21	63.6	21.2	12.1	0.0	3.0	0.0
	60歳代	26	49.1	18.9	15.1	7.5	9.4	0.0
	70歳代	32	62.7	13.7	7.8	7.8	7.8	0.0
	80歳代	15	53.6	32.1	7.1	7.1	0.0	0.0
最終学歴	中学校	3	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	高等学校	45	62.5	18.1	5.6	8.3	5.6	0.0
	短大・高専・専門学校	24	66.7	13.9	13.9	2.8	2.8	0.0
	大学・大学院	90	57.7	21.8	12.2	3.2	5.1	0.0
職業	事務職	32	64.0	16.0	12.0	2.0	6.0	0.0
	管理職	16	50.0	25.0	6.3	3.1	15.6	0.0
	専門的・技術職	18	48.6	24.3	16.2	5.4	5.4	0.0
	販売・サービス職	7	46.7	33.3	20.0	0.0	0.0	0.0
	技能・労務職	5	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	農林漁業	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	43	79.6	13.0	3.7	3.7	0.0	0.0
	学生	3	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無職	37	54.4	17.6	13.2	8.8	5.9	0.0
地域	北海道	5	55.6	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0
	東北	6	46.2	38.5	15.4	0.0	0.0	0.0
	関東	62	55.4	19.6	14.3	5.4	5.4	0.0
	中部	25	78.1	6.3	6.3	6.3	3.1	0.0
	近畿	39	63.9	18.0	8.2	1.6	8.2	0.0
	中国	9	64.3	14.3	7.1	7.1	7.1	0.0
	四国	2	33.3	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0
	九州	14	63.6	31.8	4.5	0.0	0.0	0.0
参考:2018年11月(総数)	283	60.1	18.4	10.6	5.7	5.3	0.0	

最近3年間で台湾に行ったことがあるか

問3付問2 あなたは、最近3年間で台湾に行ったことがありますか。(答えは1つ)



「台湾に行ったことがある」と答えた者に、最近3年間で訪台有無を聞いたところ、「行ったことがある」と答えたのは33.5%、「行ったことがない」と答えたのは66.5%だった。

		該当数	ある	ない	無回答
総数		269	33.5	66.5	0.0
性別	男性	138	37.7	62.3	0.0
	女性	131	29.0	71.0	0.0
年代	20歳代	16	63.0	37.0	0.0
	30歳代	16	44.4	55.6	0.0
	40歳代	36	34.0	66.0	0.0
	50歳代	21	39.4	60.6	0.0
	60歳代	26	28.3	71.7	0.0
	70歳代	32	29.4	70.6	0.0
	80歳代	15	3.6	96.4	0.0
	最終 学歴	中学校	3	20.0	80.0
高等学校		45	27.8	72.2	0.0
短大・高専・専門学校		24	19.4	80.6	0.0
大学・大学院		90	39.7	60.3	0.0
職業	事務職	32	44.0	56.0	0.0
	管理職	16	34.4	65.6	0.0
	専門的・技術職	18	51.4	48.6	0.0
	販売・サービス職	7	20.0	80.0	0.0
	技能・労務職	5	28.6	71.4	0.0
	農林漁業	1	0.0	100.0	0.0
	主婦・主夫	43	22.2	77.8	0.0
	学生	3	60.0	40.0	0.0
	無職	37	26.5	73.5	0.0
地域	北海道	5	33.3	66.7	0.0
	東北	6	38.5	61.5	0.0
	関東	62	39.3	60.7	0.0
	中部	25	31.3	68.8	0.0
	近畿	39	26.2	73.8	0.0
	中国	9	28.6	71.4	0.0
	四国	2	66.7	33.3	0.0
	九州	14	18.2	81.8	0.0

問3付問2 最近3年間で台湾に行ったことがあるか — 全体での割合



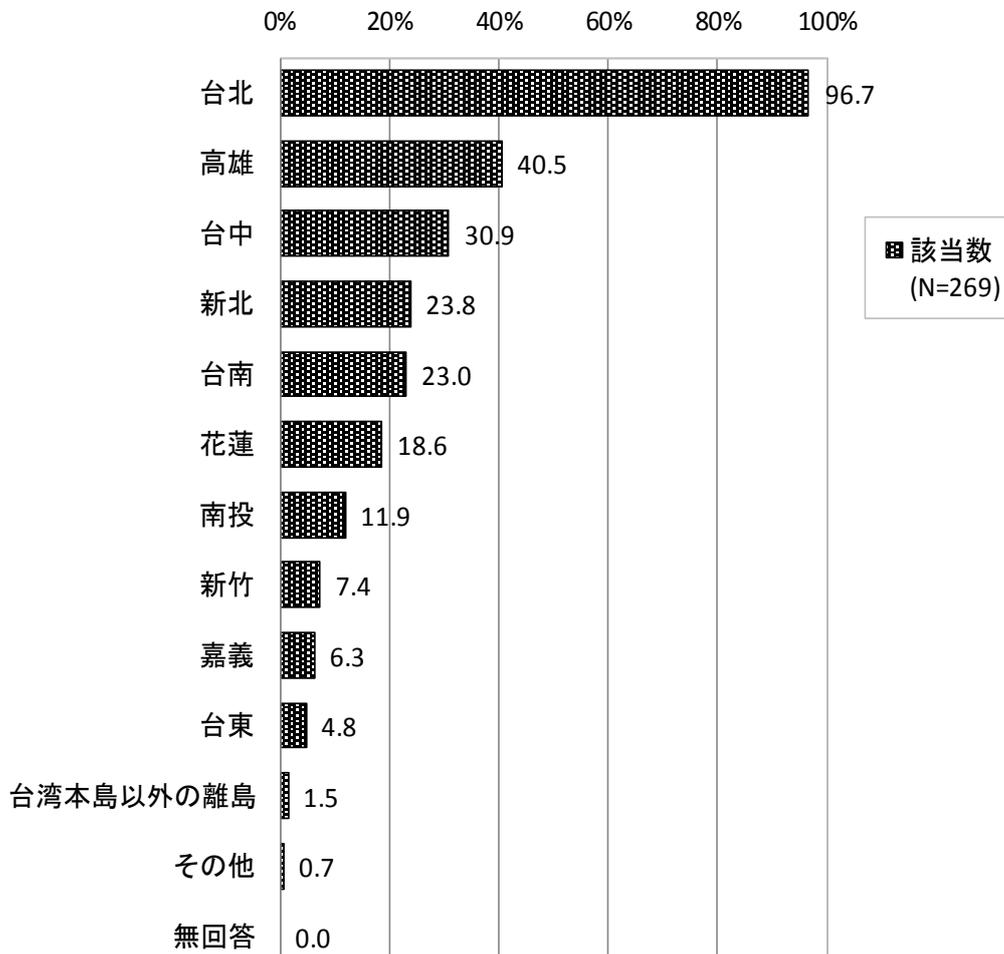
最近3年間で訪台有無について、標本全体での割合を算出した。全体では、最近3年間で台湾に行ったことがある者の割合は9.0%だった。

年代別にみると、20歳代から70歳代の1割前後が最近3年間で台湾に行ったことがある。

		総数	最近3年間で台湾に行った	最近3年間より前に台湾に行った	これまでに台湾に行ったことがない
総数		1,000	9.0	17.9	73.1
性別	男性	488	10.7	17.6	71.7
	女性	512	7.4	18.2	74.4
年代	20歳代	119	14.3	8.4	77.3
	30歳代	146	8.2	10.3	81.5
	40歳代	184	9.2	17.9	72.8
	50歳代	153	8.5	13.1	78.4
	60歳代	170	8.8	22.4	68.8
	70歳代	142	10.6	25.4	64.1
	80歳代	86	1.2	31.4	67.4
最終学歴	中学校	39	2.6	10.3	87.2
	高等学校	324	6.2	16.0	77.8
	短大・高専・専門学校	210	3.3	13.8	82.9
	大学・大学院	427	14.5	22.0	63.5
職業	事務職	168	13.1	16.7	70.2
	管理職	75	14.7	28.0	57.3
	専門的・技術職	133	14.3	13.5	72.2
	販売・サービス職	81	3.7	14.8	81.5
	技能・労務職	69	2.9	7.2	89.9
	農林漁業	3	0.0	33.3	66.7
	主婦・主夫	256	4.7	16.4	78.9
	学生	17	17.6	11.8	70.6
地域	無職	193	9.3	25.9	64.8
	北海道	43	7.0	14.0	79.1
	東北	71	7.0	11.3	81.7
	関東	341	12.9	19.9	67.2
	中部	167	6.0	13.2	80.8
	近畿	178	9.0	25.3	65.7
	中国	58	6.9	17.2	75.9
	四国	31	12.9	6.5	80.6
九州	111	3.6	16.2	80.2	

訪れたことのある場所

問4 訪れたことのある場所を次の中からすべてお答えください。(複数回答可)



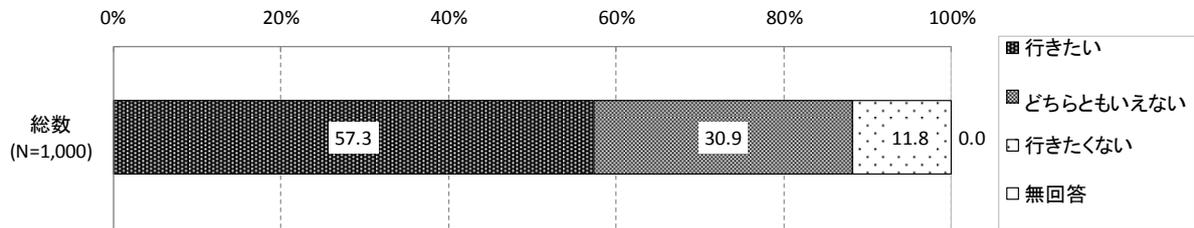
「これまでに台湾に行ったことがある」と答えた者に、訪れたことのある場所を選んでもらったところ、「台北」をあげた者の割合が最も高く 96.7%、次いで「高雄」40.5%、「台中」30.9%、「新北」23.8%、「台南」23.0%、「花蓮」18.6%、「南投」11.9%、「新竹」7.4%、「嘉義」6.3%、「台東」4.8%、「台湾本島以外の離島」1.5%の順となっている。

		該当数	台北	新北	新竹	台中	南投	嘉義	台南	高雄
総数		269	96.7	23.8	7.4	30.9	11.9	6.3	23.0	40.5
性別	男性	138	96.4	20.3	11.6	35.5	12.3	7.2	26.1	44.9
	女性	131	96.9	27.5	3.1	26.0	11.5	5.3	19.8	35.9
年代	20歳代	16	96.3	29.6	0.0	29.6	3.7	3.7	11.1	18.5
	30歳代	16	100.0	18.5	3.7	7.4	3.7	0.0	3.7	11.1
	40歳代	36	96.0	16.0	8.0	16.0	4.0	0.0	18.0	32.0
	50歳代	21	97.0	15.2	6.1	27.3	0.0	3.0	24.2	33.3
	60歳代	26	100.0	39.6	5.7	35.8	20.8	11.3	22.6	52.8
	70歳代	32	96.1	29.4	15.7	54.9	29.4	13.7	41.2	60.8
	80歳代	15	89.3	7.1	7.1	32.1	7.1	7.1	28.6	53.6
最終 学歴	中学校	3	80.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0
	高等学校	45	94.4	27.8	4.2	31.9	13.9	6.9	23.6	47.2
	短大・高専・専門学校	24	97.2	16.7	11.1	30.6	5.6	2.8	19.4	38.9
	大学・大学院	90	98.1	23.7	7.7	30.1	12.2	6.4	23.1	37.8
職業	事務職	32	96.0	28.0	8.0	20.0	8.0	0.0	14.0	30.0
	管理職	16	96.9	15.6	12.5	31.3	6.3	6.3	28.1	40.6
	専門的・技術職	18	94.6	16.2	2.7	27.0	0.0	2.7	18.9	35.1
	販売・サービス職	7	100.0	26.7	0.0	26.7	6.7	6.7	20.0	26.7
	技能・労務職	5	100.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	42.9
	農林漁業	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	43	98.1	33.3	1.9	33.3	20.4	9.3	24.1	46.3
	学生	3	100.0	60.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	無職	37	95.6	20.6	14.7	39.7	19.1	10.3	30.9	51.5
地域	北海道	5	88.9	11.1	11.1	66.7	11.1	0.0	22.2	55.6
	東北	6	100.0	7.7	7.7	46.2	15.4	15.4	38.5	61.5
	関東	62	94.6	27.7	8.9	28.6	13.4	6.3	21.4	42.0
	中部	25	96.9	18.8	9.4	31.3	9.4	0.0	15.6	37.5
	近畿	39	98.4	27.9	4.9	21.3	8.2	4.9	24.6	31.1
	中国	9	100.0	28.6	7.1	35.7	21.4	14.3	35.7	35.7
	四国	2	100.0	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3	50.0
九州	14	100.0	13.6	0.0	40.9	13.6	9.1	18.2	45.5	
参考:2018年11月(総数)		283	96.1	27.9	10.6	30.4	12.0	7.8	24.4	35.7

		該当数	台東	花蓮	台湾本島 以外の 離島	その他	無回答
総数		269	4.8	18.6	1.5	0.7	0.0
性別	男性	138	5.8	18.8	0.7	1.4	0.0
	女性	131	3.8	18.3	2.3	0.0	0.0
年代	20歳代	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	16	3.7	7.4	3.7	0.0	0.0
	40歳代	36	0.0	6.0	0.0	2.0	0.0
	50歳代	21	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	26	9.4	30.2	0.0	0.0	0.0
	70歳代	32	11.8	39.2	3.9	2.0	0.0
	80歳代	15	3.6	28.6	3.6	0.0	0.0
最終 学歴	中学校	3	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	高等学校	45	4.2	26.4	0.0	1.4	0.0
	短大・高専・専門学校	24	8.3	22.2	5.6	0.0	0.0
	大学・大学院	90	3.8	14.1	1.3	0.6	0.0
職業	事務職	32	2.0	8.0	0.0	0.0	0.0
	管理職	16	6.3	15.6	0.0	3.1	0.0
	専門的・技術職	18	2.7	8.1	0.0	0.0	0.0
	販売・サービス職	7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
	技能・労務職	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	農林漁業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	43	5.6	27.8	0.0	0.0	0.0
	学生	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	37	7.4	32.4	5.9	1.5	0.0
地域	北海道	5	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0
	東北	6	23.1	30.8	0.0	7.7	0.0
	関東	62	6.3	17.0	1.8	0.9	0.0
	中部	25	0.0	21.9	0.0	0.0	0.0
	近畿	39	3.3	14.8	1.6	0.0	0.0
	中国	9	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0
	四国	2	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
九州	14	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	
参考:2018年11月(総数)		283	11.0	17.3	2.5	1.8	0.7

台湾に行きたいか

問5 今後台湾に行きたいですか。(答えは1つ)



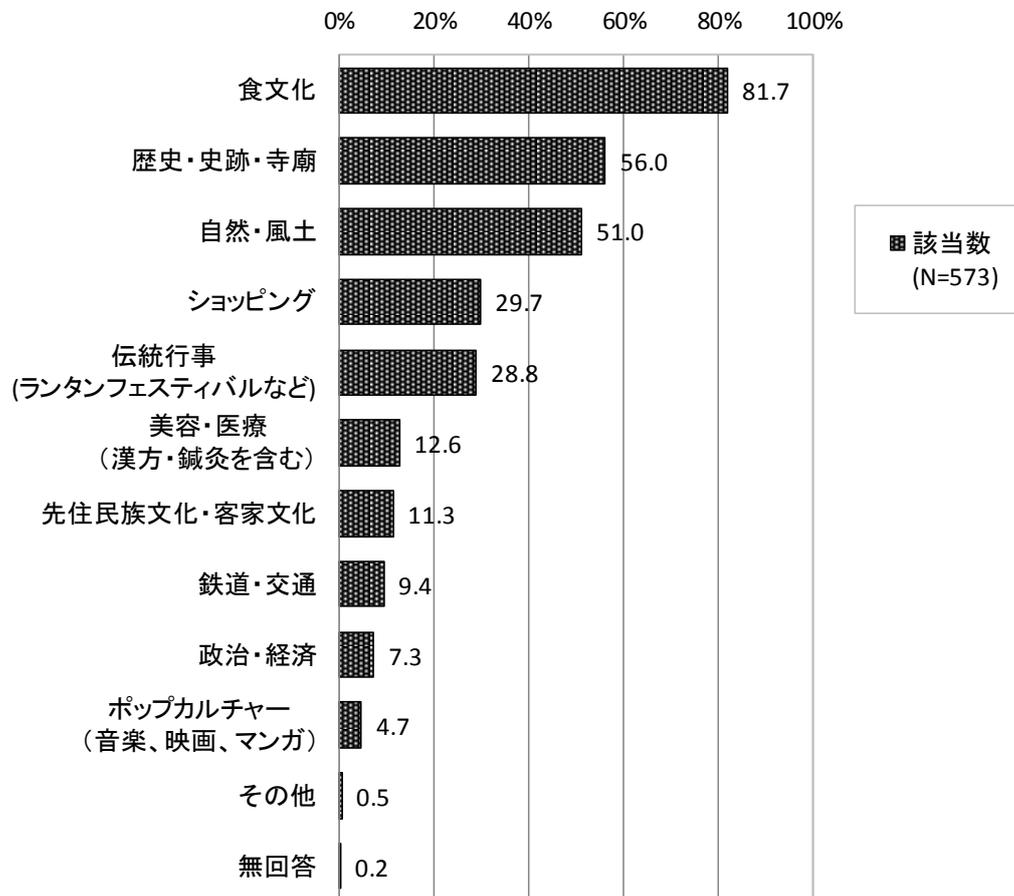
今後台湾に行きたいか聞いたところ、「行きたい」と答えたのは57.3%、「どちらともいえない」と答えたのは30.9%、「行きたくない」と答えたのは11.8%だった。

性別にみると、「行きたい」と答えたのは男性で60.9%、女性で53.9%といずれも半数を超えている。

		総数	行きたい	どちらともいえない	行きたくない	無回答
総数		1,000	57.3	30.9	11.8	0.0
性別	男性	488	60.9	29.7	9.4	0.0
	女性	512	53.9	32.0	14.1	0.0
年代	20歳代	119	62.2	25.2	12.6	0.0
	30歳代	146	62.3	27.4	10.3	0.0
	40歳代	184	61.4	31.5	7.1	0.0
	50歳代	153	56.2	34.6	9.2	0.0
	60歳代	170	57.6	35.3	7.1	0.0
	70歳代	142	52.1	36.6	11.3	0.0
	80歳代	86	43.0	18.6	38.4	0.0
最終 学歴	中学校	39	35.9	30.8	33.3	0.0
	高等学校	324	49.7	36.4	13.9	0.0
	短大・高専・専門学校	210	56.7	31.0	12.4	0.0
	大学・大学院	427	65.3	26.7	8.0	0.0
職業	事務職	168	60.1	33.3	6.5	0.0
	管理職	75	69.3	25.3	5.3	0.0
	専門的・技術職	133	64.7	26.3	9.0	0.0
	販売・サービス職	81	63.0	28.4	8.6	0.0
	技能・労務職	69	58.0	33.3	8.7	0.0
	農林漁業	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	主婦・主夫	256	49.6	35.5	14.8	0.0
	学生	17	70.6	17.6	11.8	0.0
	無職	193	52.3	28.0	19.7	0.0
地域	北海道	43	48.8	34.9	16.3	0.0
	東北	71	59.2	31.0	9.9	0.0
	関東	341	57.8	30.5	11.7	0.0
	中部	167	52.7	37.7	9.6	0.0
	近畿	178	57.9	28.7	13.5	0.0
	中国	58	60.3	25.9	13.8	0.0
	四国	31	64.5	29.0	6.5	0.0
九州	111	60.4	27.0	12.6	0.0	
参考:2018年11月(総数)		1,000	56.6	29.4	13.9	0.1

台湾に対する興味

問6 台湾のどのような分野に興味がありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



今後台湾に行きたいと答えた者に、台湾のどのような分野に興味があるか聞いたところ、「食文化」をあげた者の割合が最も高く、81.7%だった。次いで、「歴史・史跡・寺廟」56.0%、「自然・風土」51.0%、「ショッピング」29.7%、「伝統行事 (ランタンフェスティバルなど)」28.8%、「美容・医療 (漢方・鍼灸を含む)」12.6%、「先住民族文化・客家文化」11.3%、「鉄道・交通」9.4%、「政治・経済」7.3%、「ポップカルチャー (音楽、映画、マンガ)」4.7%の順となっている。

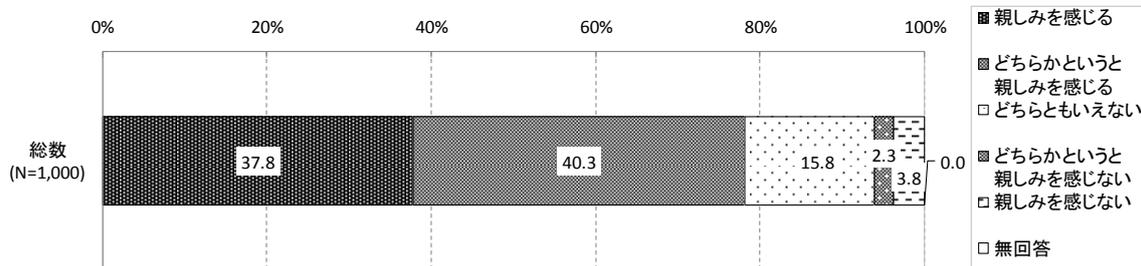
性別にみると、男女とも「食文化」をあげた者の割合が最も高く、いずれも80%を超えている。

		該当数	自然・風土	政治・経済	食文化	歴史・史跡・ 寺廟	伝統行事 (ランタンフェ スティバル など)	ショッピング	美容・医療 (漢方・鍼 灸を含む)	ポップカル チャー(音 楽、映画、 マンガ)	鉄道・交通	先住民族 文化・客家 文化	
総数		573	51.0	7.3	81.7	56.0	28.8	29.7	12.6	4.7	9.4	11.3	
性別	男性	297	54.5	10.1	80.1	58.6	24.2	22.6	6.1	4.7	11.8	12.5	
	女性	276	47.1	4.3	83.3	53.3	33.7	37.3	19.6	4.7	6.9	10.1	
年代	20歳代	74	47.3	9.5	82.4	43.2	17.6	35.1	20.3	1.4	2.7	1.4	
	30歳代	91	51.6	5.5	84.6	48.4	28.6	28.6	15.4	6.6	4.4	7.7	
	40歳代	113	38.9	8.0	83.2	57.5	29.2	30.1	15.9	6.2	6.2	7.1	
	50歳代	86	45.3	2.3	86.0	57.0	25.6	36.0	12.8	4.7	9.3	10.5	
	60歳代	98	51.0	5.1	85.7	56.1	25.5	28.6	8.2	2.0	9.2	6.1	
	70歳代	74	64.9	5.4	70.3	62.2	36.5	20.3	5.4	1.4	16.2	20.3	
	80歳代	37	78.4	27.0	70.3	81.1	51.4	27.0	5.4	16.2	32.4	51.4	
最終 学歴	中学校	14	57.1	21.4	78.6	64.3	28.6	42.9	14.3	7.1	14.3	21.4	
	高等学校	161	52.8	4.3	78.9	52.2	27.3	30.4	9.9	5.6	8.1	12.4	
	短大・高専・専門学校	119	48.7	4.2	78.2	51.3	31.1	33.6	16.0	4.2	9.2	7.6	
	大学・大学院	279	50.5	9.7	84.9	59.9	28.7	26.9	12.5	4.3	10.0	11.8	
職業	事務職	101	45.5	5.0	85.1	48.5	27.7	33.7	19.8	5.0	2.0	3.0	
	管理職	52	50.0	9.6	88.5	61.5	21.2	21.2	9.6	9.6	23.1	13.5	
	専門的・技術職	86	58.1	7.0	83.7	52.3	32.6	30.2	9.3	2.3	9.3	10.5	
	販売・サービス職	51	39.2	5.9	80.4	60.8	25.5	33.3	15.7	0.0	11.8	11.8	
	技能・労務職	40	45.0	10.0	77.5	50.0	17.5	30.0	7.5	10.0	0.0	5.0	
	農林漁業	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	主婦・主夫	127	45.7	5.5	78.0	59.1	33.1	31.5	13.4	3.9	10.2	11.8	
	学生	12	41.7	8.3	75.0	25.0	0.0	33.3	25.0	8.3	8.3	0.0	
	無職	101	67.3	10.9	80.2	63.4	35.6	24.8	7.9	5.0	11.9	22.8	
	地域	北海道	21	71.4	14.3	95.2	71.4	52.4	28.6	14.3	4.8	14.3	19.0
		東北	42	45.2	2.4	78.6	45.2	16.7	28.6	7.1	2.4	7.1	2.4
		関東	197	51.8	8.6	81.2	57.9	29.4	27.4	16.8	4.1	9.1	12.2
中部		88	56.8	3.4	85.2	58.0	23.9	25.0	11.4	5.7	10.2	12.5	
近畿		103	39.8	9.7	80.6	48.5	27.2	36.9	10.7	7.8	11.7	11.7	
中国		35	65.7	17.1	88.6	54.3	31.4	40.0	11.4	2.9	11.4	14.3	
四国		20	40.0	5.0	75.0	50.0	20.0	35.0	15.0	5.0	5.0	15.0	
九州		67	50.7	1.5	76.1	64.2	37.3	25.4	7.5	3.0	6.0	7.5	
参考:2018年11月(総数)		566	53.2	9.4	85.0	51.8	26.9	35.5	16.8	8.3	12.7	13.1	

		該当数	その他	無回答	
総数		573	0.5	0.2	
性別	男性	297	0.3	0.0	
	女性	276	0.7	0.4	
年代	20歳代	74	0.0	0.0	
	30歳代	91	0.0	0.0	
	40歳代	113	0.9	0.0	
	50歳代	86	1.2	0.0	
	60歳代	98	1.0	0.0	
	70歳代	74	0.0	0.0	
	80歳代	37	0.0	2.7	
最終 学歴	中学校	14	0.0	0.0	
	高等学校	161	1.2	0.6	
	短大・高専・専門学校	119	0.0	0.0	
	大学・大学院	279	0.4	0.0	
職業	事務職	101	0.0	0.0	
	管理職	52	0.0	0.0	
	専門的・技術職	86	0.0	0.0	
	販売・サービス職	51	3.9	0.0	
	技能・労務職	40	0.0	0.0	
	農林漁業	1	0.0	0.0	
	主婦・主夫	127	0.0	0.8	
	学生	12	0.0	0.0	
	無職	101	1.0	0.0	
	地域	北海道	21	0.0	0.0
		東北	42	0.0	0.0
		関東	197	1.5	0.0
中部		88	0.0	0.0	
近畿		103	0.0	0.0	
中国		35	0.0	0.0	
四国		20	0.0	0.0	
九州		67	0.0	1.5	
参考:2018年11月(総数)		566	1.8	0.2	

台湾に対する親しみ

問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。(答えは1つ)



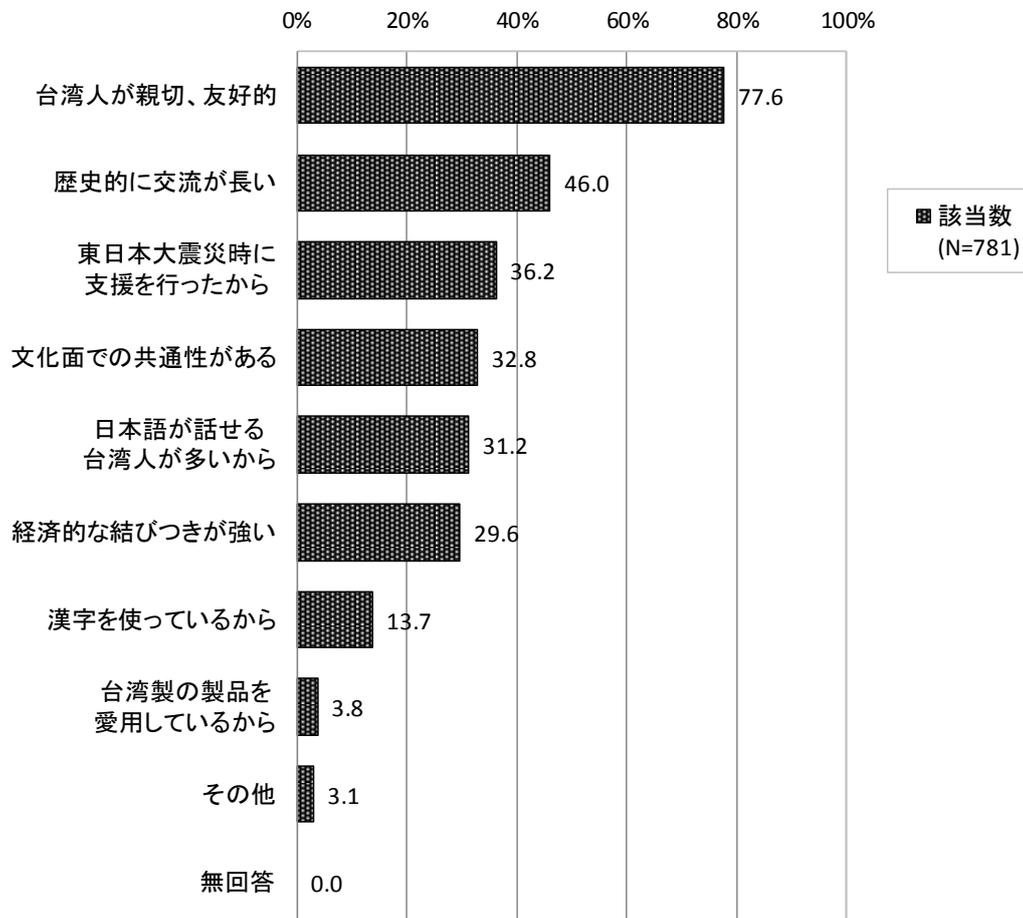
台湾に親しみを感じるか聞いたところ、「親しみを感じる」と答えたのは37.8%、「どちらかという親しみを感じる」と答えたのは40.3%、「どちらともいえない」と答えたのは15.8%、「どちらかという親しみを感じない」と答えたのは2.3%、「親しみを感じない」と答えたのは3.8%だった。「親しみを感じる(計)」「親しみを感じる」+「どちらかという親しみを感じる」と答えた者は78.1%だった。

性別、年代別ともに、大きな差はみられない。

		総数	親しみを感じる	どちらかという親しみを感じる	どちらともいえない	どちらかという親しみを感じない	親しみを感じない	無回答
総数		1,000	37.8	40.3	15.8	2.3	3.8	0.0
性別	男性	488	44.9	38.1	12.5	1.4	3.1	0.0
	女性	512	31.1	42.4	18.9	3.1	4.5	0.0
年代	20歳代	119	32.8	38.7	17.6	5.9	5.0	0.0
	30歳代	146	34.2	34.9	22.6	1.4	6.8	0.0
	40歳代	184	37.5	42.4	14.1	2.7	3.3	0.0
	50歳代	153	42.5	37.3	17.6	1.3	1.3	0.0
	60歳代	170	30.0	50.6	14.7	1.8	2.9	0.0
	70歳代	142	43.0	40.8	11.3	1.4	3.5	0.0
	80歳代	86	50.0	31.4	11.6	2.3	4.7	0.0
最終学歴	中学校	39	30.8	20.5	28.2	10.3	10.3	0.0
	高等学校	324	32.7	41.4	20.4	1.2	4.3	0.0
	短大・高専・専門学校	210	32.9	40.5	20.0	2.9	3.8	0.0
	大学・大学院	427	44.7	41.2	9.1	2.1	2.8	0.0
職業	事務職	168	36.9	41.7	15.5	2.4	3.6	0.0
	管理職	75	45.3	42.7	6.7	2.7	2.7	0.0
	専門的・技術職	133	45.1	39.1	11.3	0.8	3.8	0.0
	販売・サービス職	81	44.4	29.6	19.8	3.7	2.5	0.0
	技能・労務職	69	31.9	42.0	18.8	1.4	5.8	0.0
	農林漁業	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	256	28.1	44.1	21.1	3.1	3.5	0.0
	学生	17	41.2	35.3	5.9	5.9	11.8	0.0
	無職	193	43.0	37.8	13.5	1.6	4.1	0.0
地域	北海道	43	37.2	41.9	14.0	0.0	7.0	0.0
	東北	71	39.4	39.4	15.5	2.8	2.8	0.0
	関東	341	39.6	38.4	16.4	1.8	3.8	0.0
	中部	167	34.7	44.9	14.4	3.6	2.4	0.0
	近畿	178	35.4	41.6	17.4	2.2	3.4	0.0
	中国	58	46.6	36.2	8.6	1.7	6.9	0.0
	四国	31	41.9	29.0	16.1	6.5	6.5	0.0
	九州	111	34.2	42.3	18.0	1.8	3.6	0.0
参考:2018年11月(総数)		1,000	37.0	37.0	19.0	2.6	4.4	0.0

親しみを感じる理由

問8 親しみを感じる理由は何ですか。(複数回答可)



台湾に対して「親しみを感じる」、「どちらかという親しみを感じる」と答えた者に、その理由を聞いたところ、「台湾人が親切、友好的」をあげた者の割合が最も高く 77.6%だった。次いで「歴史的に交流が長い」46.0%、「東日本大震災時に支援を行ったから」36.2%、「文化面での共通性がある」32.8%、「日本語が話せる台湾人が多いから」31.2%、「経済的な結びつきが強い」29.6%、「漢字を使っているから」13.7%、「台湾製の製品を愛用しているから」3.8%の順となっている。

性別にみると、「経済的な結びつきが強い」をあげた者の割合は男性のほうが高い。

年代別にみると、50歳代以上では「歴史的に交流が長い」が4割台を超え、20歳代から40歳代と比べ高くなっており、年齢が高いほど歴史的なつながりを感じている傾向がうかがえる。

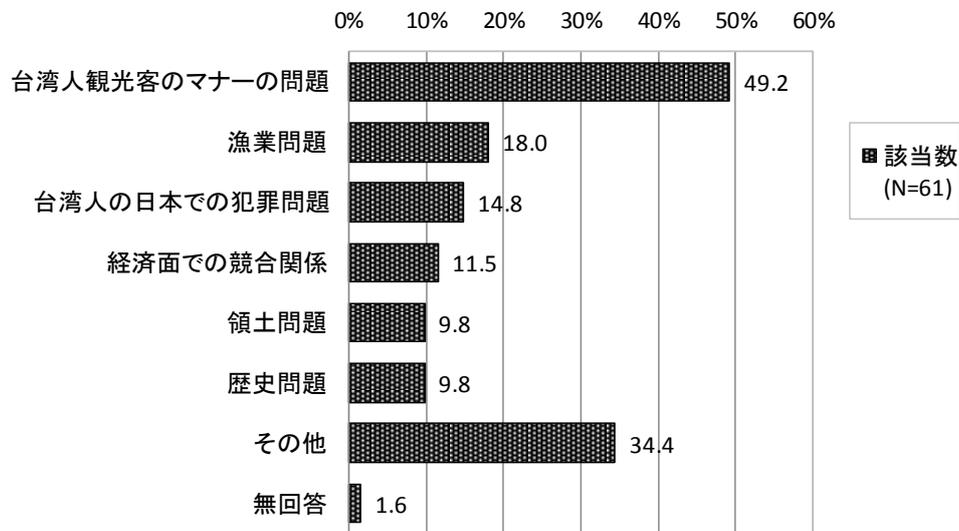
		該当数	台湾人が親切、友好的	経済的な結びつきが強い	文化面での共通性がある	歴史的に交流が長い	東日本大震災時に支援を行ったから	台湾製の製品を愛用しているから	漢字を使っているから
総数		781	77.6	29.6	32.8	46.0	36.2	3.8	13.7
性別	男性	330	81.5	35.8	35.6	49.9	40.2	5.2	14.1
	女性	276	73.4	22.9	29.8	41.8	31.9	2.4	13.3
年代	20歳代	85	78.8	23.5	29.4	32.9	29.4	1.2	12.9
	30歳代	101	79.2	21.8	26.7	28.7	32.7	3.0	14.9
	40歳代	147	81.0	23.8	23.8	29.9	34.0	6.8	8.2
	50歳代	122	78.7	28.7	24.6	45.1	34.4	0.8	5.7
	60歳代	137	71.5	29.2	32.1	46.7	29.2	2.9	12.4
	70歳代	119	75.6	31.9	38.7	67.2	32.8	5.9	13.4
	80歳代	70	80.0	58.6	70.0	84.3	77.1	5.7	41.4
最終学歴	中学校	20	90.0	45.0	60.0	65.0	50.0	10.0	20.0
	高等学校	240	75.4	30.8	30.8	47.9	40.0	3.8	13.8
	短大・高専・専門学校	154	68.2	26.6	25.3	38.3	31.8	3.9	9.7
	大学・大学院	367	82.3	29.2	35.7	46.9	34.9	3.5	15.0
職業	事務職	132	83.3	19.7	22.7	32.6	30.3	0.8	7.6
	管理職	66	74.2	43.9	37.9	56.1	37.9	3.0	15.2
	専門的・技術職	112	81.3	27.7	35.7	44.6	42.0	5.4	14.3
	販売・サービス職	60	78.3	20.0	30.0	36.7	35.0	5.0	20.0
	技能・労務職	51	76.5	29.4	23.5	31.4	27.5	7.8	7.8
	農林漁業	3	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	185	70.8	27.0	31.4	45.4	34.1	3.2	11.9
	学生	13	69.2	23.1	15.4	30.8	30.8	0.0	15.4
	無職	156	80.1	41.0	45.5	64.1	44.2	5.1	19.9
地域	北海道	34	88.2	32.4	35.3	47.1	44.1	5.9	11.8
	東北	56	71.4	21.4	32.1	37.5	44.6	3.6	8.9
	関東	266	80.5	33.1	32.3	43.2	37.2	5.3	15.4
	中部	133	78.9	25.6	27.8	47.4	32.3	2.3	10.5
	近畿	137	75.2	31.4	35.0	43.8	32.8	3.6	19.0
	中国	48	77.1	37.5	33.3	50.0	43.8	4.2	12.5
	四国	22	72.7	13.6	22.7	50.0	22.7	0.0	22.7
九州	85	71.8	25.9	40.0	57.6	35.3	2.4	7.1	
参考:2018年11月(総数)		740	79.1	32.2	30.1	45.8	39.2	6.2	12.4

		該当数	日本語が話せる台湾人が多いから	その他	無回答
総数		781	31.2	3.1	0.0
性別	男性	330	31.9	1.5	0.0
	女性	276	30.6	4.8	0.0
年代	20歳代	85	25.9	0.0	0.0
	30歳代	101	26.7	2.0	0.0
	40歳代	147	18.4	5.4	0.0
	50歳代	122	23.0	2.5	0.0
	60歳代	137	39.4	7.3	0.0
	70歳代	119	34.5	0.8	0.0
	80歳代	70	64.3	0.0	0.0
最終学歴	中学校	20	50.0	0.0	0.0
	高等学校	240	33.3	4.6	0.0
	短大・高専・専門学校	154	25.3	4.5	0.0
	大学・大学院	367	31.3	1.6	0.0
職業	事務職	132	22.7	3.8	0.0
	管理職	66	27.3	3.0	0.0
	専門的・技術職	112	33.0	1.8	0.0
	販売・サービス職	60	41.7	3.3	0.0
	技能・労務職	51	21.6	2.0	0.0
	農林漁業	3	33.3	0.0	0.0
	主婦・主夫	185	31.4	3.8	0.0
	学生	13	7.7	0.0	0.0
	無職	156	39.7	3.2	0.0
地域	北海道	34	35.3	0.0	0.0
	東北	56	30.4	1.8	0.0
	関東	266	31.6	3.0	0.0
	中部	133	30.1	3.8	0.0
	近畿	137	33.6	4.4	0.0
	中国	48	29.2	0.0	0.0
	四国	22	36.4	0.0	0.0
九州	85	27.1	4.7	0.0	
参考:2018年11月(総数)		740	-	3.9	0.1

(参考値は2018年調査と2019年調査で同一の選択肢を用いたもののみ表示)

親しみを感じない理由

問9 親しみを感じない理由は何ですか。(複数回答可)



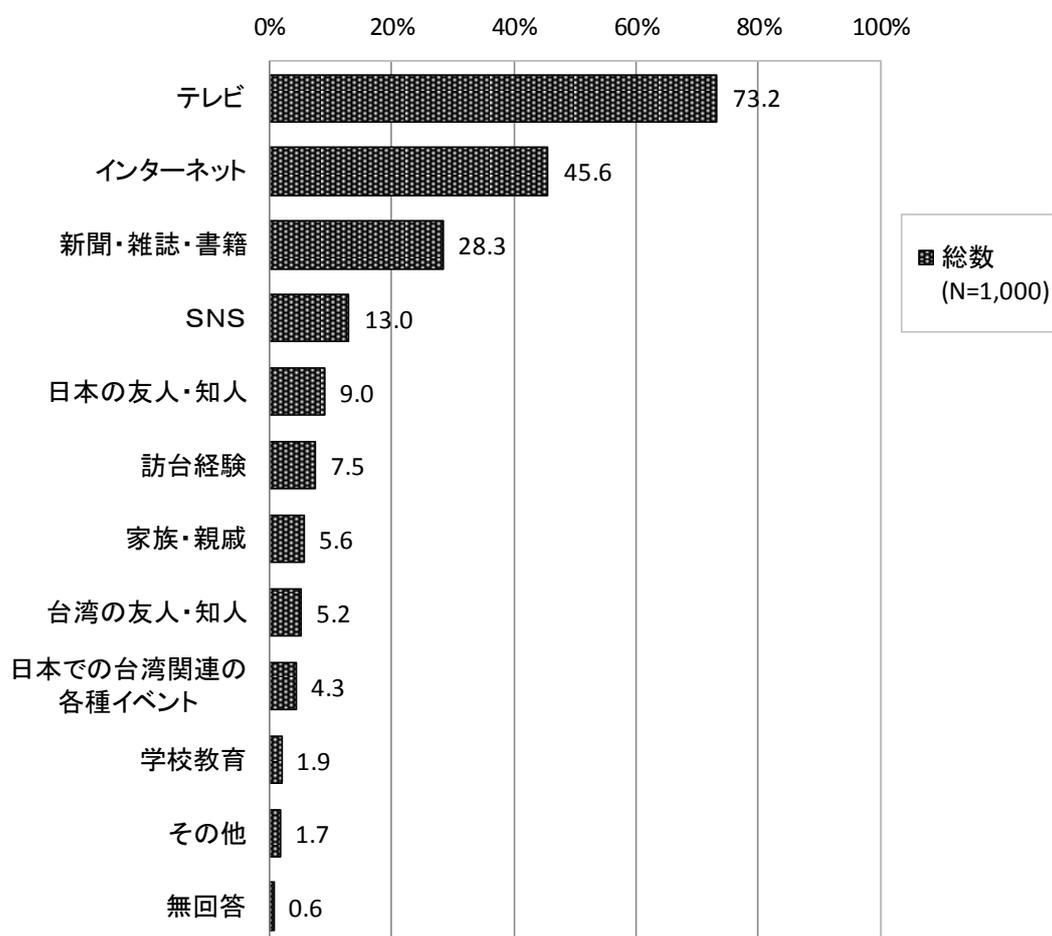
台湾に対して「どちらかという親しみを感じない」「親しみを感じない」と答えた者(61人)に、その理由を聞いたところ、「台湾人観光客のマナーの問題」をあげた者の割合が49.2%(30人)で最も多く、続いて「漁業問題」18.0%(11人)、「台湾人の日本での犯罪問題」14.8%(9人)、「経済面での競合関係」11.5%(7人)、「領土問題」と「歴史問題」は同率で9.8%(6人)となっている。

「その他」34.4%(21人)の中では、具体的な理由として“関係がない”、“興味がない”、“よく知らない”など、個人的に「台湾についての知識や関心がない」ことを述べた者が多かった。

	該当数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	台湾人の日本での犯罪問題	台湾人観光客のマナーの問題	その他	無回答	
総数	61	18.0	11.5	9.8	9.8	14.8	49.2	34.4	1.6	
性別	男性	22	18.2	13.6	9.1	4.5	9.1	40.9	45.5	0.0
	女性	39	17.9	10.3	10.3	12.8	17.9	53.8	28.2	2.6
年代	20歳代	13	15.4	23.1	7.7	7.7	0.0	46.2	30.8	0.0
	30歳代	12	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	40歳代	11	18.2	0.0	9.1	18.2	27.3	45.5	45.5	0.0
	50歳代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	60歳代	8	25.0	12.5	25.0	12.5	37.5	62.5	25.0	0.0
	70歳代	7	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9	57.1	0.0
	80歳代	6	66.7	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
	最終学歴	中学校	8	37.5	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5
	高等学校	18	27.8	16.7	22.2	11.1	27.8	72.2	22.2	0.0
	短大・高専・専門学校	14	14.3	7.1	7.1	7.1	21.4	42.9	50.0	0.0
	大学・大学院	21	4.8	9.5	0.0	9.5	4.8	42.9	42.9	0.0
職業	事務職	10	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	50.0	50.0	0.0
	管理職	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	専門的・技術職	6	16.7	16.7	16.7	33.3	33.3	50.0	16.7	0.0
	販売・サービス職	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	技能・労務職	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	農林漁業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	17	35.3	11.8	17.6	11.8	17.6	64.7	23.5	0.0
	学生	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	無職	11	18.2	9.1	9.1	18.2	27.3	27.3	36.4	9.1
		北海道	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
地域	東北	4	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
	関東	19	15.8	15.8	10.5	15.8	15.8	47.4	36.8	0.0
	中部	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	近畿	10	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0	70.0	30.0	0.0
	中国	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	四国	4	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	九州	6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	66.7	0.0
参考:2018年11月(総数)	70	17.1	7.1	18.6	22.9	18.6	44.3	15.7	1.4	

台湾に関する情報源

問10 台湾に関する情報を、あなたは主にどこから得ていますか。(複数回答可)



台湾に関する情報源について聞いたところ、「テレビ」をあげた者の割合が最も高く、73.2%だった。次いで、「インターネット」45.6%、「新聞・雑誌・書籍」28.3%、「SNS」13.0%、「日本の友人・知人」9.0%、「訪台経験」7.5%、「家族・親戚」5.6%、「台湾の友人・知人」5.2%、「日本での台湾関連の各種イベント」4.3%、「学校教育」1.9%の順となっている。

性別にみると、男女とも「テレビ」が1位となっている。「インターネット」をあげた者の割合は男性で58.2%、女性で33.6%となっており、男性で高い。

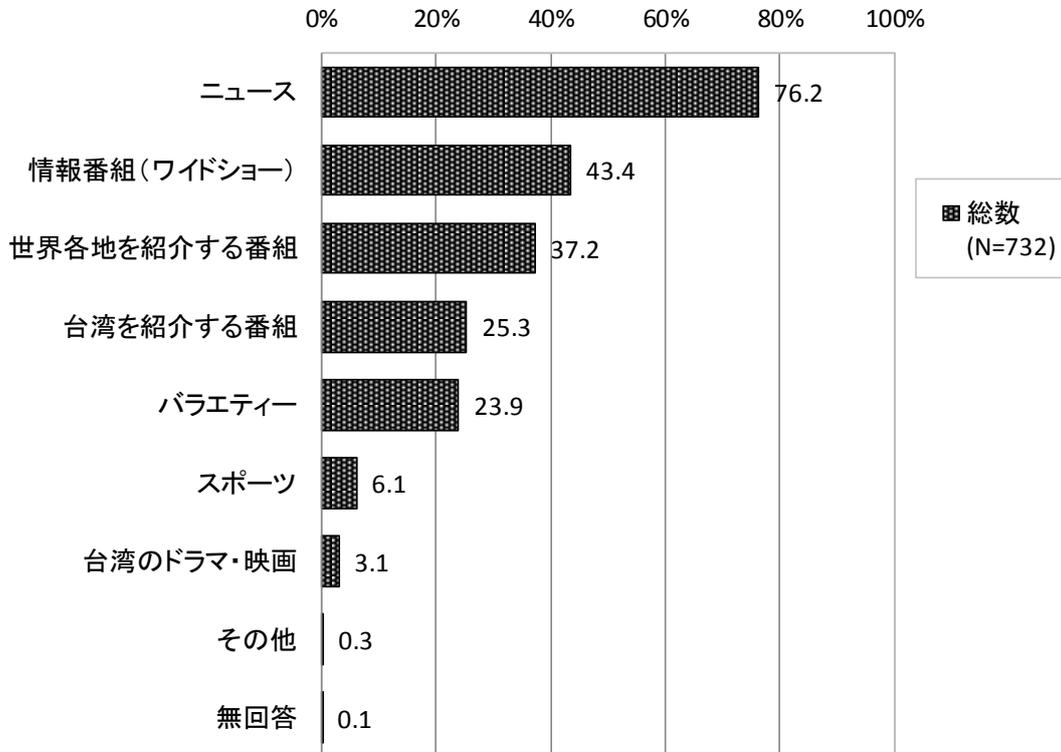
年代別にみると、すべての年代で「テレビ」が1位となっている。「SNS」をあげた者の割合は、20歳代で最も高く34.5%、次いで30歳代で25.3%と、40歳代以上で2割未満であるのと比べて高い。「新聞・雑誌・書籍」をあげた者の割合は、60歳代以上で3割以上となっており、40歳代以下で1割前後であるのと比べて高い。

		総数	テレビ	インター ネット	SNS	新聞・ 雑誌・ 書籍	訪台経験	家族・親戚	台湾の 友人・知人	日本の 友人・知人	学校教育	日本での 台湾関連の 各種イベント
総数		1,000	73.2	45.6	13.0	28.3	7.5	5.6	5.2	9.0	1.9	4.3
性別	男性	488	69.3	58.2	12.1	29.1	8.6	2.7	5.1	7.4	2.9	4.7
	女性	512	77.0	33.6	13.9	27.5	6.4	8.4	5.3	10.5	1.0	3.9
年代	20歳代	119	62.2	50.4	34.5	9.2	5.0	3.4	5.0	14.3	3.4	6.7
	30歳代	146	71.2	52.7	25.3	11.0	3.4	4.8	6.2	8.2	0.0	2.1
	40歳代	184	72.3	55.4	14.1	14.7	4.3	4.3	3.3	8.2	1.6	3.3
	50歳代	153	77.1	49.7	5.9	28.8	7.2	3.9	7.8	5.2	1.3	2.6
	60歳代	170	75.3	43.5	2.4	31.2	9.4	4.7	2.9	4.7	0.0	3.5
	70歳代	142	77.5	40.1	6.3	54.9	7.0	7.7	5.6	7.7	1.4	4.9
	80歳代	86	75.6	11.6	4.7	62.8	22.1	14.0	7.0	22.1	9.3	10.5
	最終 学歴	中学校	39	76.9	33.3	12.8	28.2	12.8	5.1	2.6	10.3	2.6
	高等学校	324	79.3	34.3	9.6	28.1	6.8	5.6	3.7	10.2	2.2	5.6
	短大・高専・専門学校	210	76.2	41.0	12.4	24.3	4.3	6.7	4.8	7.1	0.5	1.9
	大学・大学院	427	66.7	57.6	15.9	30.4	9.1	5.2	6.8	8.9	2.3	4.2
職業	事務職	168	68.5	54.8	19.0	17.9	3.0	4.8	5.4	7.1	0.0	2.4
	管理職	75	74.7	58.7	14.7	32.0	16.0	0.0	10.7	10.7	1.3	5.3
	専門的・技術職	133	71.4	60.9	13.5	24.8	8.3	5.3	3.8	8.3	1.5	4.5
	販売・サービス職	81	69.1	45.7	14.8	19.8	8.6	1.2	8.6	14.8	2.5	4.9
	技能・労務職	69	75.4	47.8	20.3	8.7	1.4	2.9	5.8	7.2	1.4	2.9
	農林漁業	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	主婦・主夫	256	78.1	28.9	9.4	32.8	5.9	10.2	4.3	9.0	1.6	3.5
	学生	17	58.8	64.7	35.3	23.5	11.8	5.9	5.9	17.6	11.8	11.8
	無職	193	74.1	42.0	6.7	44.0	11.4	5.7	3.6	8.3	3.1	6.2
	地域	北海道	43	79.1	27.9	4.7	39.5	2.3	2.3	4.7	4.7	0.0
	東北	71	83.1	33.8	12.7	31.0	7.0	8.5	1.4	7.0	2.8	2.8
	関東	341	71.6	48.1	16.4	25.5	10.3	5.6	8.2	11.1	2.6	5.0
	中部	167	76.0	43.1	15.6	31.7	1.8	6.0	4.8	6.0	2.4	2.4
	近畿	178	64.6	51.7	10.7	33.1	9.0	3.9	3.4	9.6	0.6	2.8
	中国	58	75.9	48.3	13.8	24.1	13.8	5.2	8.6	12.1	0.0	6.9
	四国	31	77.4	45.2	9.7	16.1	3.2	6.5	0.0	12.9	3.2	3.2
	九州	111	76.6	45.0	6.3	23.4	5.4	7.2	1.8	6.3	1.8	6.3
参考:2018年11月(総数)		1,000	73.2	42.0	10.7	28.2	8.6	6.1	5.9	9.6	1.7	3.3

		総数	その他	無回答
総数		1,000	1.7	0.6
性別	男性	487	2.5	0.2
	女性	513	1.0	1.0
年代	20歳代	122	0.8	0.0
	30歳代	149	1.4	0.0
	40歳代	187	2.7	0.0
	50歳代	148	2.0	0.0
	60歳代	177	1.2	0.0
	70歳代	136	1.4	0.0
	80歳代	81	2.3	7.0
	最終 学歴	中学校	36	2.6
	高等学校	338	1.9	0.6
	短大・高専・専門学校	205	1.9	1.0
	大学・大学院	420	1.4	0.0
職業	事務職	186	2.4	0.0
	管理職	69	2.7	0.0
	専門的・技術職	138	3.0	0.0
	販売・サービス職	82	2.5	0.0
	技能・労務職	75	2.9	0.0
	農林漁業	9	0.0	0.0
	主婦・主夫	242	1.2	1.2
	学生	15	0.0	0.0
	無職	184	0.0	1.6
	地域	北海道	42	4.7
	東北	73	0.0	0.0
	関東	337	2.1	0.3
	中部	169	0.6	1.2
	近畿	178	2.8	0.6
	中国	57	0.0	0.0
	四国	31	0.0	0.0
	九州	113	1.8	0.9
参考:2018年11月(総数)		1,000	1.8	0.3

台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンル

問10付問 あなたは、どのような番組で台湾に関する情報を得ていますか。(複数回答可)



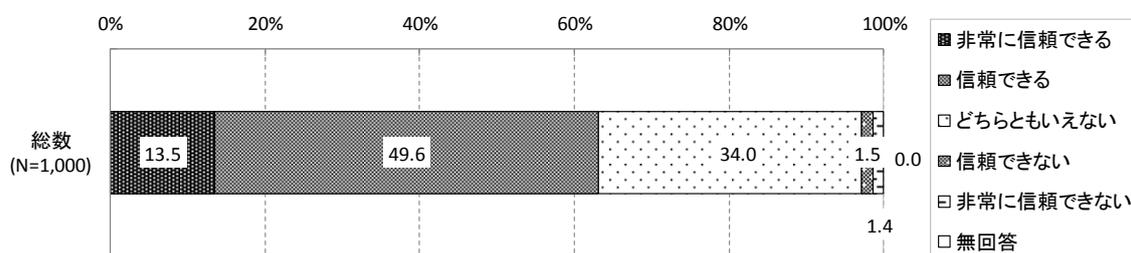
台湾に関する情報源として「テレビ」をあげた者に、どのような番組で台湾に関する情報を得ているか聞いたところ、「ニュース」の割合が最も高く、76.2%だった。次いで、「情報番組(ワイドショー)」43.4%、「世界各地を紹介する番組」37.2%、「台湾を紹介する番組」25.3%、「バラエティー」23.9%、「スポーツ」6.1%、「台湾のドラマ・映画」3.1%の順となっている。

		該当者	ニュース	情報番組 (ワイド ショー)	バラエティー	世界各地を 紹介する 番組	台湾を 紹介する 番組	台湾のドラ マ・映画	スポーツ
総数		732	76.2	43.4	23.9	37.2	25.3	3.1	6.1
性別	男性	338	82.0	43.8	22.8	37.6	27.2	1.8	8.3
	女性	394	71.3	43.1	24.9	36.8	23.6	4.3	4.3
年代	20歳代	74	71.6	40.5	35.1	31.1	8.1	0.0	2.7
	30歳代	104	63.5	40.4	34.6	40.4	20.2	3.8	1.9
	40歳代	133	70.7	42.1	27.1	29.3	21.8	3.0	3.8
	50歳代	118	77.1	41.5	27.1	37.3	27.1	1.7	2.5
	60歳代	128	78.9	52.3	18.0	35.2	28.1	4.7	4.7
	70歳代	110	84.5	43.6	16.4	41.8	32.7	1.8	7.3
	80歳代	65	92.3	40.0	6.2	50.8	38.5	7.7	29.2
最終 学歴	中学校	30	86.7	50.0	26.7	30.0	16.7	3.3	6.7
	高等学校	257	75.1	38.1	21.4	31.9	27.2	3.1	7.4
	短大・高専・専門学校	160	69.4	43.8	22.5	36.3	24.4	4.4	5.6
	大学・大学院	285	80.0	47.4	26.7	43.2	24.9	2.5	5.3
職業	事務職	115	76.5	43.5	27.0	37.4	20.0	0.9	1.7
	管理職	56	76.8	46.4	26.8	41.1	23.2	3.6	8.9
	専門的・技術職	95	82.1	42.1	23.2	43.2	27.4	1.1	4.2
	販売・サービス職	56	75.0	44.6	33.9	39.3	28.6	0.0	5.4
	技能・労務職	52	73.1	42.3	19.2	25.0	17.3	3.8	5.8
	農林漁業	1	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	200	70.5	43.0	22.0	33.5	25.5	5.0	4.0
	学生	10	70.0	60.0	40.0	40.0	10.0	0.0	0.0
	無職	143	81.1	42.0	20.3	41.3	31.5	4.9	14.0
	地域	北海道	34	88.2	50.0	23.5	26.5	32.4	2.9
東北		59	76.3	40.7	22.0	30.5	23.7	3.4	6.8
関東		244	72.1	43.9	24.6	38.5	27.5	3.3	5.7
中部		127	75.6	33.9	27.6	44.1	22.0	0.8	7.1
近畿		115	80.9	49.6	22.6	34.8	23.5	4.3	5.2
中国		44	68.2	43.2	13.6	36.4	27.3	2.3	9.1
四国		24	79.2	41.7	25.0	20.8	20.8	0.0	4.2
九州		85	81.2	48.2	24.7	40.0	24.7	5.9	5.9

		該当者	その他	無回答
総数		732	0.3	0.1
性別	男性	338	0.3	0.0
	女性	394	0.3	0.3
年代	20歳代	74	2.7	0.0
	30歳代	104	0.0	0.0
	40歳代	133	0.0	0.0
	50歳代	118	0.0	0.0
	60歳代	128	0.0	0.0
	70歳代	110	0.0	0.0
	80歳代	65	0.0	1.5
最終 学歴	中学校	30	0.0	3.3
	高等学校	257	0.0	0.0
	短大・高専・専門学校	160	0.0	0.0
	大学・大学院	285	0.7	0.0
職業	事務職	115	0.0	0.0
	管理職	56	1.8	0.0
	専門的・技術職	95	0.0	0.0
	販売・サービス職	56	0.0	0.0
	技能・労務職	52	0.0	0.0
	農林漁業	1	0.0	0.0
	主婦・主夫	200	0.0	0.0
	学生	10	10.0	0.0
	無職	143	0.0	0.7
	地域	北海道	34	0.0
東北		59	0.0	0.0
関東		244	0.4	0.4
中部		127	0.8	0.0
近畿		115	0.0	0.0
中国		44	0.0	0.0
四国		24	0.0	0.0
九州		85	0.0	0.0

台湾に対する信頼

問11 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)



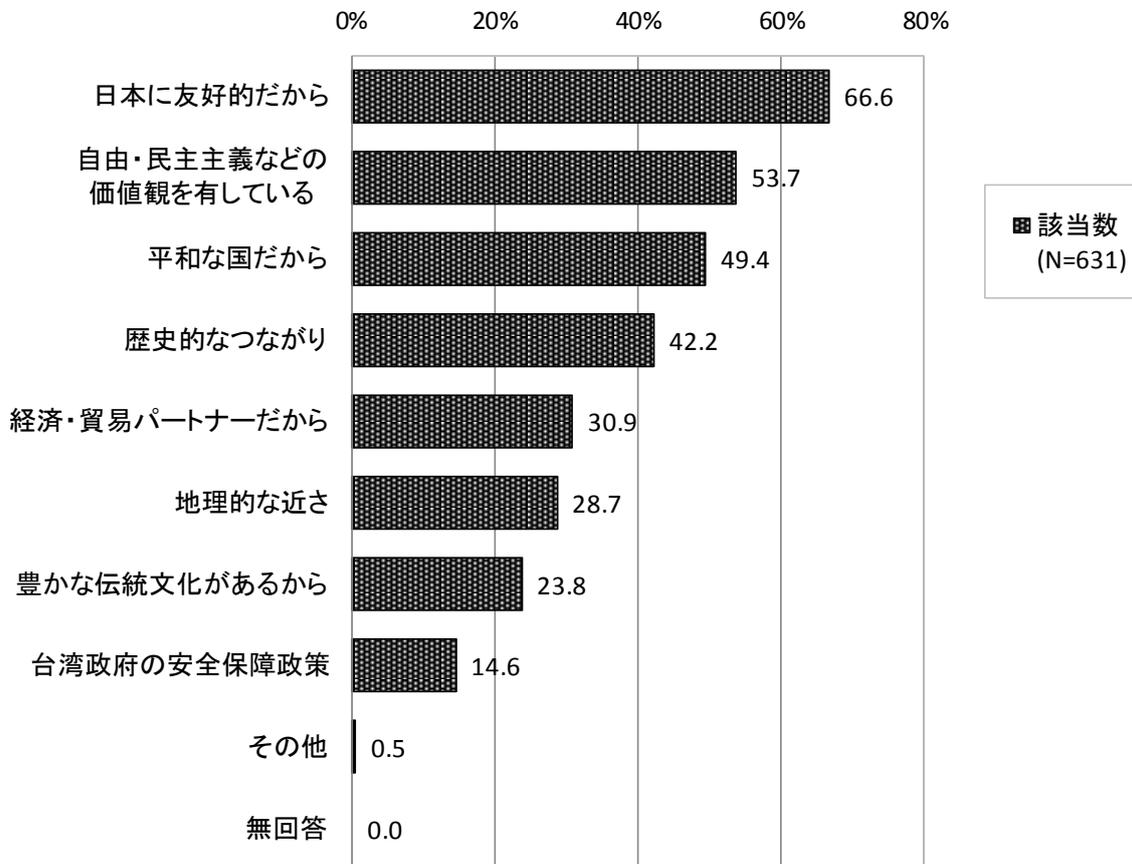
台湾は信頼できるか聞いたところ、「非常に信頼できる」と答えたのは13.5%、「信頼できる」と答えたのは49.6%、「どちらともいえない」と答えたのは34.0%、「信頼できない」と答えたのは1.5%、「非常に信頼できない」と答えたのは1.4%だった。「信頼できる(計)」「非常に信頼できる」+「信頼できる」と答えた者の割合は63.1%と、60%を超えており、「信頼できない(計)」「信頼できない」+「非常に信頼できない」と答えた者は2.9%で、少数となっている。

年代別にみても、すべての年代で「信頼できる(計)」「非常に信頼できる」+「信頼できる」が50%を超えている。

		総数	非常に信頼できる	信頼できる	どちらともいえない	信頼できない	非常に信頼できない	無回答
総数		1,000	13.5	49.6	34.0	1.5	1.4	0.0
性別	男性	488	19.1	50.4	27.3	1.6	1.6	0.0
	女性	512	8.2	48.8	40.4	1.4	1.2	0.0
年代	20歳代	119	14.3	42.9	36.1	4.2	2.5	0.0
	30歳代	146	15.8	47.3	33.6	1.4	2.1	0.0
	40歳代	184	12.5	48.9	34.8	1.1	2.7	0.0
	50歳代	153	17.6	47.7	34.0	0.0	0.7	0.0
	60歳代	170	14.1	51.2	33.5	0.6	0.6	0.0
	70歳代	142	9.9	56.3	31.0	2.1	0.7	0.0
	80歳代	86	8.1	53.5	36.0	2.3	0.0	0.0
最終学歴	中学校	39	15.4	30.8	51.3	0.0	2.6	0.0
	高等学校	324	9.6	48.5	37.3	2.5	2.2	0.0
	短大・高専・専門学校	210	9.5	48.6	39.5	1.9	0.5	0.0
	大学・大学院	427	18.3	52.7	27.2	0.7	1.2	0.0
職業	事務職	168	13.1	56.0	28.6	1.8	0.6	0.0
	管理職	75	21.3	48.0	28.0	2.7	0.0	0.0
	専門的・技術職	133	22.6	46.6	27.1	1.5	2.3	0.0
	販売・サービス職	81	18.5	48.1	29.6	2.5	1.2	0.0
	技能・労務職	69	10.1	44.9	43.5	0.0	1.4	0.0
	農林漁業	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	256	7.8	46.9	43.4	0.8	1.2	0.0
	学生	17	17.6	52.9	17.6	5.9	5.9	0.0
	無職	193	11.4	52.8	32.1	1.6	2.1	0.0
地域	北海道	43	18.6	41.9	37.2	0.0	2.3	0.0
	東北	71	8.5	57.7	31.0	2.8	0.0	0.0
	関東	341	17.0	49.9	30.5	1.5	1.2	0.0
	中部	167	10.2	50.3	37.7	1.2	0.6	0.0
	近畿	178	12.9	50.0	34.3	1.1	1.7	0.0
	中国	58	13.8	43.1	37.9	0.0	5.2	0.0
	四国	31	6.5	45.2	41.9	3.2	3.2	0.0
九州	111	11.7	49.5	35.1	2.7	0.9	0.0	
参考:2018年11月(総数)		1,000	11.8	48.6	36.0	2.2	1.4	0.0

信頼できる理由

問12 信頼できる理由は何ですか。(複数回答可)



台湾は「非常に信頼できる」、「信頼できる」と答えた者に、その理由を聞いたところ、「日本に友好的だから」をあげた者の割合が最も高く、66.6%だった。次いで、「自由・民主主義などの価値観を有している」53.7%、「平和な国だから」49.4%、「歴史的なつながり」42.2%、「経済・貿易パートナーだから」30.9%、「地理的な近さ」28.7%、「豊かな伝統文化があるから」23.8%、「台湾政府の安全保障政策」14.6%の順となっている。

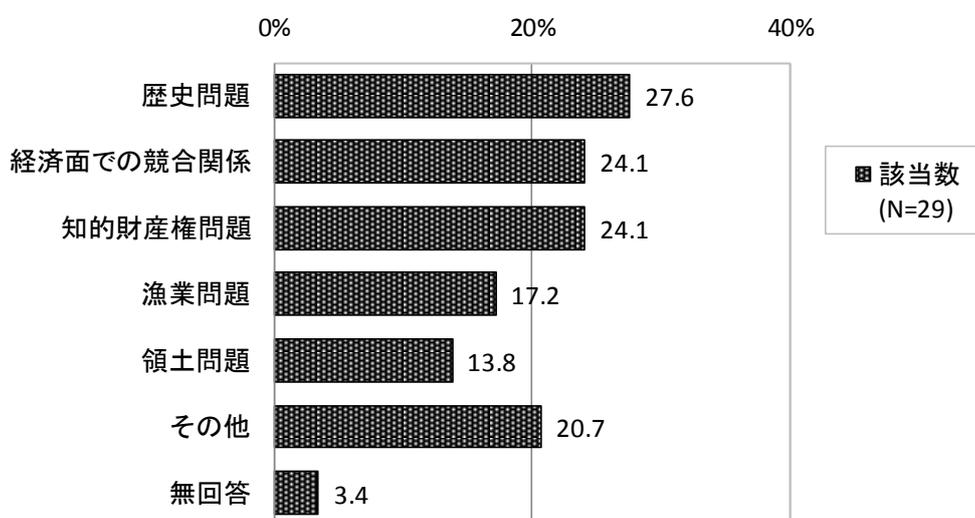
性別にみると、男性では「自由・民主主義などの価値観を有している」をあげた者は6割を超えているのに対し、女性では約4割となっており、男性で高い。

		該当数	自由・民主主義などの価値観を有している	平和な国だから	経済・貿易パートナーだから	台湾政府の安全保障政策	豊かな伝統文化があるから	地理的な近さ	歴史的なつながり	日本に友好的だから
総数		631	53.7	49.4	30.9	14.6	23.8	28.7	42.2	66.6
性別	男性	339	63.1	49.9	36.0	18.0	22.1	34.5	44.8	65.8
	女性	292	42.8	49.0	25.0	10.6	25.7	21.9	39.0	67.5
年代	20歳代	68	36.8	48.5	25.0	11.8	13.2	17.6	30.9	61.8
	30歳代	92	40.2	55.4	23.9	7.6	18.5	16.3	28.3	66.3
	40歳代	113	43.4	44.2	31.0	9.7	15.0	26.5	37.2	60.2
	50歳代	100	51.0	44.0	26.0	14.0	17.0	21.0	42.0	67.0
	60歳代	111	65.8	49.5	29.7	12.6	18.9	23.4	40.5	62.2
	70歳代	94	66.0	40.4	27.7	19.1	36.2	39.4	56.4	69.1
	80歳代	53	79.2	77.4	67.9	37.7	66.0	75.5	69.8	90.6
最終学歴	中学校	18	50.0	77.8	38.9	22.2	33.3	33.3	44.4	72.2
	高等学校	188	55.9	53.7	27.7	11.2	28.7	31.4	37.8	68.1
	短大・高専・専門学校	122	38.5	37.7	22.1	13.1	21.3	18.9	32.8	65.6
	大学・大学院	303	58.7	49.8	36.0	16.8	21.1	30.7	48.5	65.7
職業	事務職	116	37.1	42.2	23.3	5.2	11.2	13.8	33.6	62.1
	管理職	52	71.2	44.2	38.5	11.5	28.8	36.5	53.8	73.1
	専門的・技術職	92	56.5	55.4	41.3	21.7	22.8	31.5	44.6	69.6
	販売・サービス職	54	44.4	59.3	18.5	13.0	20.4	24.1	42.6	55.6
	技能・労務職	38	63.2	44.7	31.6	10.5	23.7	28.9	28.9	52.6
	農林漁業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	主婦・主夫	140	49.3	50.0	28.6	13.6	25.7	26.4	42.9	71.4
	学生	12	25.0	8.3	25.0	16.7	8.3	25.0	25.0	75.0
	無職	124	68.5	55.6	36.3	22.6	35.5	42.7	48.4	69.4
	北海道	26	50.0	57.7	30.8	15.4	19.2	23.1	42.3	69.2
地域	東北	47	46.8	36.2	21.3	10.6	17.0	23.4	34.0	70.2
	関東	228	57.5	48.2	30.3	15.4	18.4	31.1	41.2	63.6
	中部	101	55.4	48.5	23.8	12.9	34.7	29.7	48.5	63.4
	近畿	112	53.6	52.7	33.9	18.8	25.0	25.0	41.1	69.6
	中国	33	48.5	42.4	51.5	12.1	30.3	30.3	42.4	75.8
	四国	16	50.0	50.0	12.5	0.0	18.8	25.0	43.8	75.0
	九州	68	48.5	58.8	39.7	14.7	27.9	30.9	42.6	66.2
	参考:2018年11月(総数)	604	52.3	49.7	31.0	15.6	22.2	26.3	37.7	67.5

		該当数	その他	無回答
総数		631	0.5	0.0
性別	男性	339	0.3	0.0
	女性	292	0.7	0.0
年代	20歳代	68	0.0	0.0
	30歳代	92	1.1	0.0
	40歳代	113	0.0	0.0
	50歳代	100	0.0	0.0
	60歳代	111	1.8	0.0
	70歳代	94	0.0	0.0
	80歳代	53	0.0	0.0
最終学歴	中学校	18	0.0	0.0
	高等学校	188	0.5	0.0
	短大・高専・専門学校	122	0.8	0.0
	大学・大学院	303	0.3	0.0
職業	事務職	116	0.9	0.0
	管理職	52	0.0	0.0
	専門的・技術職	92	0.0	0.0
	販売・サービス職	54	0.0	0.0
	技能・労務職	38	2.6	0.0
	農林漁業	1	0.0	0.0
	主婦・主夫	140	0.7	0.0
	学生	12	0.0	0.0
	無職	124	0.0	0.0
	地域	北海道	26	0.0
東北		47	0.0	0.0
関東		228	0.4	0.0
中部		101	1.0	0.0
近畿		112	0.0	0.0
中国		33	0.0	0.0
四国		16	0.0	0.0
九州		68	1.5	0.0
参考:2018年11月(総数)	604	1.5	0.0	

信頼できない理由

問 1 3 信頼できない理由は何ですか。(複数回答可)

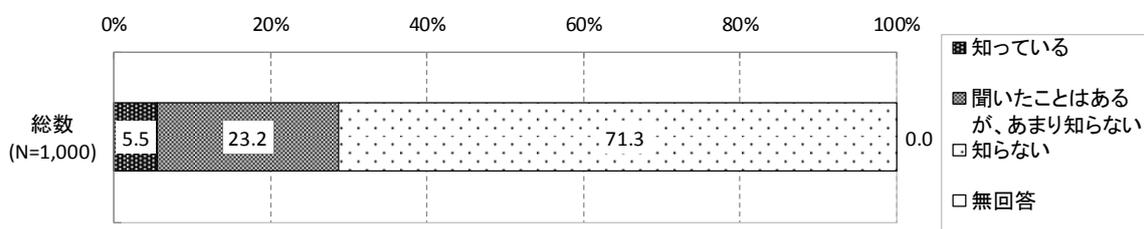


台湾は「信頼できない」、「非常に信頼できない」と答えた者（29人）に、その理由を聞いたところ、「歴史問題」をあげた者の割合が最も高く、27.6%（8人）だった。次いで、「経済面での競合関係」、「知的財産権問題」が同率で24.1%（7人）、「漁業問題」17.2%（5人）、「領土問題」13.8%（4人）の順となっている。

		該当数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	知的財産権問題	その他	無回答
総数		29	17.2	24.1	13.8	27.6	24.1	20.7	3.4
性別	男性	16	18.8	6.3	25.0	25.0	31.3	31.3	6.3
	女性	13	15.4	46.2	0.0	30.8	15.4	7.7	0.0
年代	20歳代	8	25.0	37.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0
	30歳代	5	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	7	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6	42.9	0.0
	50歳代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	4	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	80歳代	2	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	最終学歴	中学校	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高等学校	15	20.0	26.7	13.3	26.7	20.0	20.0	6.7
	短大・高専・専門学校	5	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0
	大学・大学院	8	12.5	12.5	25.0	50.0	37.5	12.5	0.0
職業	事務職	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	管理職	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	専門的・技術職	5	20.0	40.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0
	販売・サービス職	3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	技能・労務職	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	農林漁業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	5	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	学生	2	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	無職	7	14.3	0.0	14.3	28.6	42.9	28.6	14.3
	地域	北海道	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	東北	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	関東	9	33.3	33.3	33.3	33.3	11.1	22.2	0.0
	中部	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	近畿	5	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0
	中国	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	四国	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	九州	4	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
参考:2018年11月(総数)		36	27.8	33.3	33.3	47.2	30.6	13.9	0.0

台北駐日経済文化代表処を知っているか

問14 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)



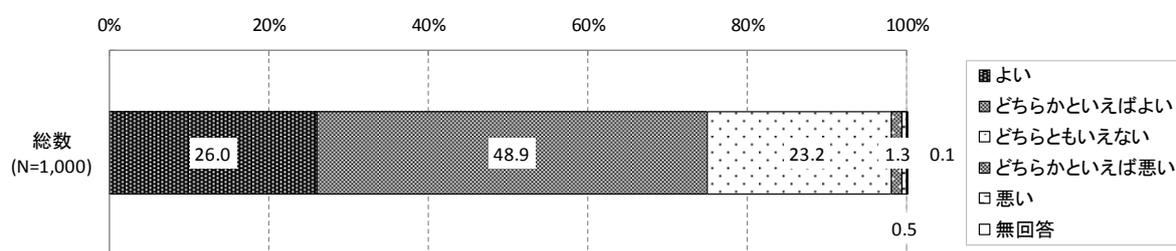
台北駐日経済文化代表処を知っているか聞いたところ、「知っている」と答えたのは5.5%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えたのは23.2%、「知らない」と答えたのは71.3%だった。

性別にみると、「知っている」と答えたのは男性で8.6%、女性で2.5%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えたのは男性で28.3%、女性で18.4%、「知らない」と答えたのは男性で63.1%、女性で79.1%だった。

		総数	知っている	聞いたことはあるが、あまり知らない	知らない	無回答
総数		1,000	5.5	23.2	71.3	0.0
性別	男性	488	8.6	28.3	63.1	0.0
	女性	512	2.5	18.4	79.1	0.0
年代	20歳代	119	5.9	19.3	74.8	0.0
	30歳代	146	5.5	12.3	82.2	0.0
	40歳代	184	3.8	20.7	75.5	0.0
	50歳代	153	6.5	21.6	71.9	0.0
	60歳代	170	5.9	24.7	69.4	0.0
	70歳代	142	4.9	35.9	59.2	0.0
	80歳代	86	7.0	31.4	61.6	0.0
最終学歴	中学校	39	10.3	33.3	56.4	0.0
	高等学校	324	3.7	18.5	77.8	0.0
	短大・高専・専門学校	210	2.9	27.1	70.0	0.0
	大学・大学院	427	7.7	23.9	68.4	0.0
職業	事務職	168	3.0	19.6	77.4	0.0
	管理職	75	16.0	28.0	56.0	0.0
	専門的・技術職	133	11.3	21.8	66.9	0.0
	販売・サービス職	81	6.2	22.2	71.6	0.0
	技能・労務職	69	4.3	30.4	65.2	0.0
	農林漁業	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	主婦・主夫	256	3.1	16.8	80.1	0.0
	学生	17	11.8	11.8	76.5	0.0
	無職	193	2.6	33.2	64.2	0.0
地域	北海道	43	7.0	25.6	67.4	0.0
	東北	71	5.6	23.9	70.4	0.0
	関東	341	7.3	25.2	67.4	0.0
	中部	167	3.0	21.0	76.0	0.0
	近畿	178	6.2	21.3	72.5	0.0
	中国	58	3.4	25.9	70.7	0.0
	四国	31	0.0	12.9	87.1	0.0
九州	111	4.5	23.4	72.1	0.0	
参考:2018年11月(総数)		1,000	6.8	24.5	68.7	0.0

日本と台湾の関係をどう思うか

問15 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)



現在の日本と台湾の関係をどう思うか聞いたところ、「よい」と答えたのは26.0%、「どちらかといえばよい」と答えたのは48.9%、「どちらともいえない」と答えたのは23.2%、「どちらかといえば悪い」と答えたのは1.3%、「悪い」と答えたのは0.5%だった。

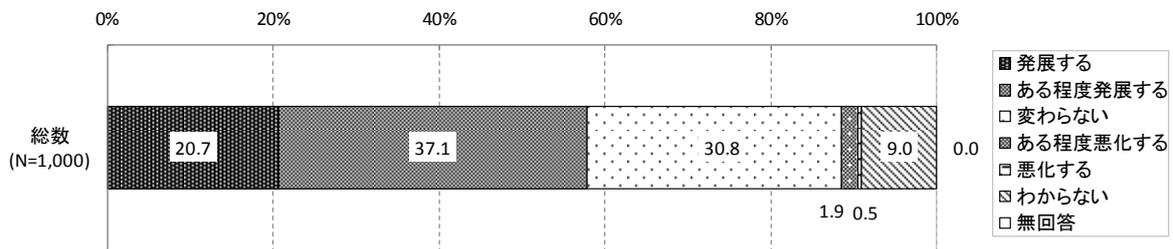
性別にみると、「よい(計)」「よい」+「どちらかといえばよい」と答えた者は男性で80.6%、女性で69.5%だった。

年代別にみると、すべての年代で「よい(計)」「よい」+「どちらかといえばよい」と答えた者が6割を超えており、「悪い(計)」「悪い」+「どちらかといえば悪い」と答えた者の割合は4%未満となっている。

		総数	よい	どちらかといえばよい	どちらともいえない	どちらかといえば悪い	悪い	無回答
総数		1,000	26.0	48.9	23.2	1.3	0.5	0.1
性別	男性	488	31.4	49.2	18.4	0.6	0.4	0.0
	女性	512	20.9	48.6	27.7	2.0	0.6	0.2
	年代							
20歳代	20歳代	119	19.3	44.5	34.5	0.8	0.8	0.0
	30歳代	146	25.3	43.2	28.1	2.1	1.4	0.0
	40歳代	184	20.1	54.3	23.4	2.2	0.0	0.0
	50歳代	153	30.7	47.7	19.6	1.3	0.7	0.0
	60歳代	170	26.5	53.5	18.8	0.6	0.6	0.0
	70歳代	142	28.2	51.4	20.4	0.0	0.0	0.0
	80歳代	86	36.0	41.9	18.6	2.3	0.0	1.2
最終学歴	中学校	39	23.1	30.8	38.5	2.6	2.6	2.6
	高等学校	324	25.9	45.7	26.2	1.5	0.6	0.0
	短大・高専・専門学校	210	22.4	45.7	29.5	1.9	0.5	0.0
	大学・大学院	427	28.1	54.6	16.4	0.7	0.2	0.0
職業	事務職	168	26.2	51.2	19.6	2.4	0.6	0.0
	管理職	75	28.0	50.7	21.3	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	133	31.6	49.6	18.8	0.0	0.0	0.0
	販売・サービス職	81	33.3	45.7	18.5	1.2	1.2	0.0
	技能・労務職	69	18.8	47.8	31.9	1.4	0.0	0.0
	農林漁業	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	256	20.3	46.9	30.5	1.6	0.8	0.0
	学生	17	23.5	47.1	17.6	5.9	5.9	0.0
	無職	193	28.5	50.3	19.7	1.0	0.0	0.5
	地域	北海道	43	23.3	51.2	23.3	2.3	0.0
東北		71	31.0	43.7	23.9	1.4	0.0	0.0
関東		341	27.3	47.2	23.2	1.8	0.3	0.3
中部		167	18.6	54.5	26.3	0.6	0.0	0.0
近畿		178	27.0	50.6	20.8	1.1	0.6	0.0
中国		58	29.3	46.6	19.0	1.7	3.4	0.0
四国		31	25.8	45.2	29.0	0.0	0.0	0.0
九州		111	27.9	47.7	22.5	0.9	0.9	0.0
参考:2018年11月(総数)		1,000	21.8	49.2	26.6	1.6	0.7	0.1

日本と台湾の関係は将来どうなるか

問16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると思いますか。(答えは1つ)



日本と台湾の関係は将来どうなるかと考えるか聞いたところ、「発展する」と答えたのは20.7%、「ある程度発展する」と答えたのは37.1%、「変わらない」と答えたのは30.8%、「ある程度悪化する」と答えたのは1.9%、「悪化する」と答えたのは0.5%だった。

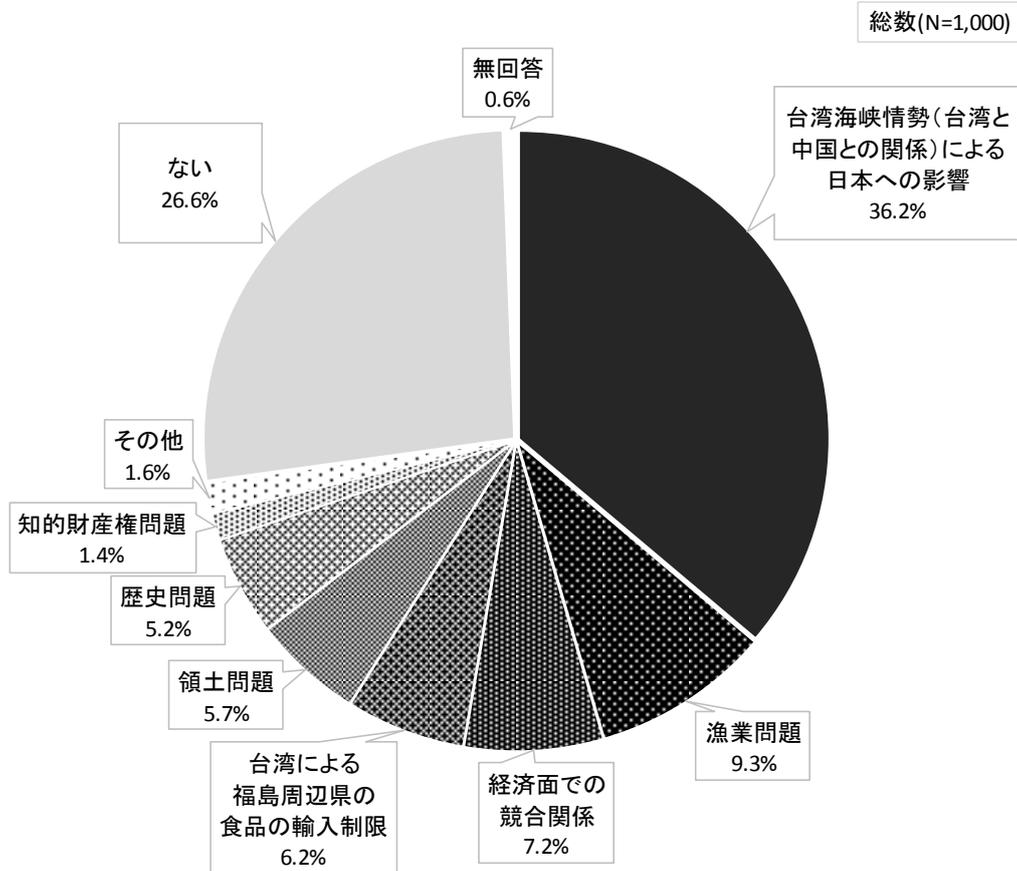
性別にみると、「発展する(計)」「発展する」+「ある程度発展する」と答えた者の割合は男性で66.6%、女性で49.4%と、男性のほうが高い。「悪化する(計)」「ある程度悪化する」+「悪化する」と答えた者は男女とも4%未満となっている。

年代別にみると、すべての年代で「発展する(計)」「発展する」+「ある程度発展する」と答えた者は4割を超えている。また、80歳代を除くすべての年代で「変わらない」と答えた者は2割から4割台となっている。

		総数	発展する	ある程度 発展する	変わらない	ある程度 悪化する	悪化する	わからない	無回答
総数		1,000	20.7	37.1	30.8	1.9	0.5	9.0	0.0
性別	男性	488	29.3	37.3	27.3	1.2	0.4	4.5	0.0
	女性	512	12.5	36.9	34.2	2.5	0.6	13.3	0.0
年代	20歳代	119	17.6	36.1	32.8	2.5	0.0	10.9	0.0
	30歳代	146	26.7	34.9	28.8	1.4	1.4	6.8	0.0
	40歳代	184	20.1	42.4	27.2	1.6	1.1	7.6	0.0
	50歳代	153	26.1	34.0	30.7	3.3	0.0	5.9	0.0
	60歳代	170	20.6	41.2	32.4	0.6	0.0	5.3	0.0
	70歳代	142	17.6	30.3	42.3	3.5	0.0	6.3	0.0
	80歳代	86	11.6	39.5	17.4	0.0	1.2	30.2	0.0
最終 学歴	中学校	39	23.1	20.5	25.6	2.6	0.0	28.2	0.0
	高等学校	324	16.7	35.2	36.4	1.5	0.6	9.6	0.0
	短大・高専・専門学校	210	19.0	31.0	34.8	3.3	0.0	11.9	0.0
	大学・大学院	427	24.4	43.1	25.1	1.4	0.7	5.4	0.0
職業	事務職	168	22.0	41.1	28.6	2.4	0.6	5.4	0.0
	管理職	75	34.7	34.7	28.0	1.3	0.0	1.3	0.0
	専門的・技術職	133	29.3	39.8	26.3	0.0	1.5	3.0	0.0
	販売・サービス職	81	30.9	32.1	27.2	1.2	0.0	8.6	0.0
	技能・労務職	69	20.3	33.3	37.7	2.9	0.0	5.8	0.0
	農林漁業	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	256	12.5	37.5	33.2	1.2	0.8	14.8	0.0
	学生	17	11.8	52.9	11.8	11.8	0.0	11.8	0.0
	無職	193	15.5	33.7	34.7	3.1	0.0	13.0	0.0
地域	北海道	43	18.6	41.9	32.6	0.0	2.3	4.7	0.0
	東北	71	21.1	31.0	31.0	2.8	0.0	14.1	0.0
	関東	341	24.6	35.2	29.0	3.2	0.6	7.3	0.0
	中部	167	17.4	37.7	34.1	1.8	0.6	8.4	0.0
	近畿	178	16.9	39.3	29.2	0.6	0.6	13.5	0.0
	中国	58	19.0	39.7	31.0	0.0	0.0	10.3	0.0
	四国	31	19.4	25.8	54.8	0.0	0.0	0.0	0.0
九州	111	21.6	42.3	26.1	1.8	0.0	8.1	0.0	
参考: 2018年11月(総数)		1,000	18.9	40.4	27.4	2.4	0.5	10.4	0.0

日本と台湾の間で最も懸念される問題

問17 日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うのはどれですか。
(答えは1つ)



日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うものを聞いたところ、「台湾海峡情勢(台湾と中国との関係)による日本への影響」と答えた者の割合がもっとも高く、36.2%だった。次いで「ない」26.6%、「漁業問題」9.3%、「経済面での競合関係」7.2%、「台湾が福島周辺県の食品の輸入を制限している問題」6.2%、「領土問題」5.7%、「歴史問題」5.2%、「知的財産権問題」1.4%の順となっている。

年代別にみると、「ない」と答えた者の割合は20歳代から30歳代で3割を超え、40歳代から60歳代で2割台、70歳代と80歳代で1割台となっており、若い年代ほど「ない」と答えた割合が高い。

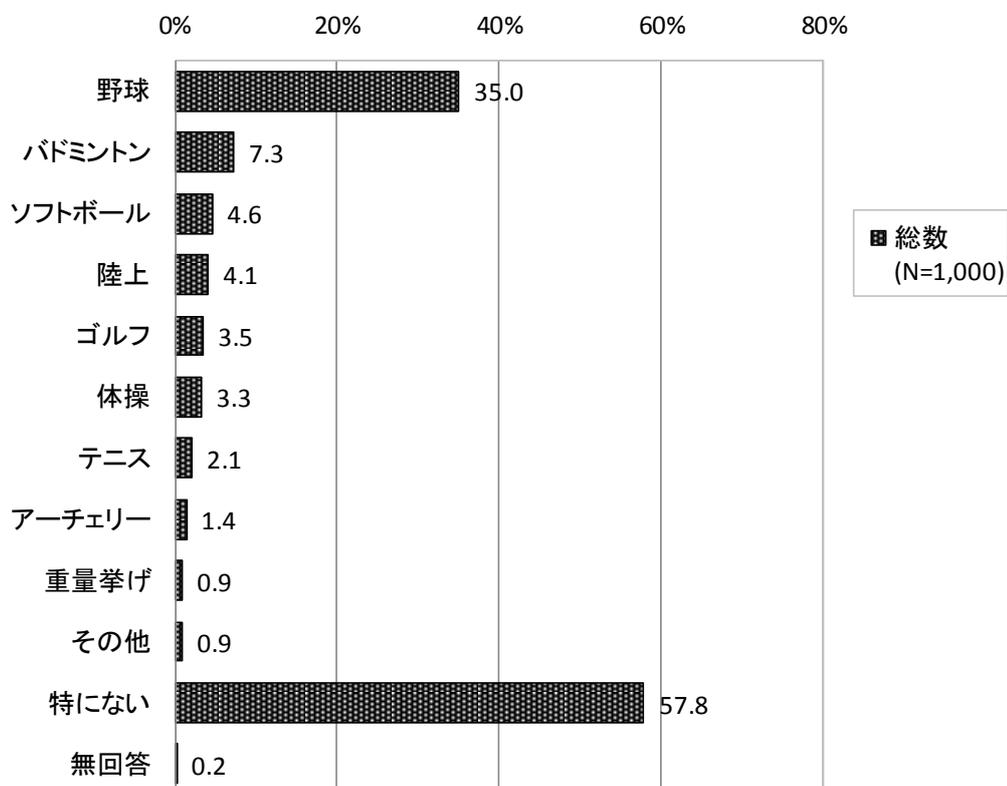
		総数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	知的財産権問題	台湾海峡情勢(台湾と中国との関係)による日本への影響	台湾による福島周辺県の食品の輸入制限
総数		1,000	9.3	7.2	5.7	5.2	1.4	36.2	6.2
性別	男性	488	11.7	7.2	6.8	4.5	1.2	40.8	3.9
	女性	512	7.0	7.2	4.7	5.9	1.6	31.8	8.4
年代	20歳代	119	10.9	8.4	8.4	7.6	3.4	23.5	5.9
	30歳代	146	9.6	11.0	6.8	9.6	1.4	21.9	2.7
	40歳代	184	6.0	7.1	5.4	3.3	1.1	39.7	5.4
	50歳代	153	7.2	9.2	4.6	6.5	1.3	36.6	4.6
	60歳代	170	13.5	5.3	6.5	2.9	1.2	35.3	8.2
	70歳代	142	9.2	5.6	3.5	1.4	1.4	53.5	7.0
	80歳代	86	9.3	2.3	4.7	7.0	0.0	43.0	11.6
最終学歴	中学校	39	17.9	2.6	5.1	2.6	2.6	25.6	2.6
	高等学校	324	7.7	5.6	6.5	4.3	0.0	36.7	6.5
	短大・高専・専門学校	210	11.0	8.6	3.3	2.9	3.8	25.2	7.6
	大学・大学院	427	8.9	8.2	6.3	7.3	1.2	42.2	5.6
職業	事務職	168	6.0	10.1	7.1	8.3	1.8	30.4	6.0
	管理職	75	5.3	8.0	8.0	6.7	4.0	41.3	2.7
	専門的・技術職	133	14.3	9.0	6.0	6.8	0.8	35.3	4.5
	販売・サービス職	81	9.9	7.4	4.9	1.2	0.0	39.5	3.7
	技能・労務職	69	4.3	7.2	4.3	5.8	0.0	37.7	5.8
	農林漁業	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	主婦・主夫	256	10.5	6.3	4.7	3.9	1.6	34.4	8.6
	学生	17	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9	23.5	11.8
	無職	193	9.3	4.7	5.2	3.6	1.0	42.5	6.7
	地域	北海道	43	9.3	9.3	4.7	2.3	0.0	51.2
東北		71	5.6	7.0	7.0	8.5	1.4	36.6	4.2
関東		341	8.8	7.9	6.7	6.2	0.9	35.2	7.6
中部		167	11.4	7.2	3.6	5.4	0.6	34.7	5.4
近畿		178	9.0	5.1	5.6	5.6	1.7	35.4	6.2
中国		58	10.3	6.9	6.9	3.4	1.7	39.7	5.2
四国		31	19.4	6.5	6.5	0.0	0.0	25.8	6.5
九州		111	7.2	8.1	4.5	2.7	4.5	37.8	5.4
参考:2018年11月(総数)		1,000	17.8	9.3	10.2	8.4	2.4	-	7.8

		総数	その他	ない	無回答
総数		1,000	1.6	26.6	0.6
性別	男性	488	1.2	22.7	0.0
	女性	512	2.0	30.3	1.2
年代	20歳代	119	0.8	31.1	0.0
	30歳代	146	1.4	35.6	0.0
	40歳代	184	3.8	28.3	0.0
	50歳代	153	0.7	29.4	0.0
	60歳代	170	2.4	24.7	0.0
	70歳代	142	0.7	17.6	0.0
	80歳代	86	0.0	15.1	7.0
最終学歴	中学校	39	2.6	33.3	5.1
	高等学校	324	1.2	30.2	1.2
	短大・高専・専門学校	210	1.9	35.7	0.0
	大学・大学院	427	1.6	18.7	0.0
職業	事務職	168	2.4	28.0	0.0
	管理職	75	4.0	20.0	0.0
	専門的・技術職	133	1.5	21.8	0.0
	販売・サービス職	81	1.2	32.1	0.0
	技能・労務職	69	1.4	33.3	0.0
	農林漁業	3	0.0	33.3	0.0
	主婦・主夫	256	0.8	27.7	1.6
	学生	17	0.0	17.6	0.0
	無職	193	1.6	24.4	1.0
	地域	北海道	43	2.3	14.0
東北		71	0.0	28.2	1.4
関東		341	2.1	24.0	0.6
中部		167	2.4	29.3	0.0
近畿		178	1.7	29.8	0.0
中国		58	0.0	25.9	0.0
四国		31	0.0	35.5	0.0
九州		111	0.9	27.0	1.8
参考:2018年11月(総数)		1,000	4.6	28.4	1.0

(参考値は2018年調査と2019年調査で同一の選択肢を用いたもののみ表示)

2020年東京オリンピック・パラリンピックでの注目競技

問18 来年開催される東京オリンピック・パラリンピックには、台湾の選手も多数参加することとなっており、日本各地のホストタウンで台湾選手の合宿の受け入れも行われます。あなたは、東京オリンピック・パラリンピックのどの競技で、台湾の選手やチームに注目しますか。(複数回答可)



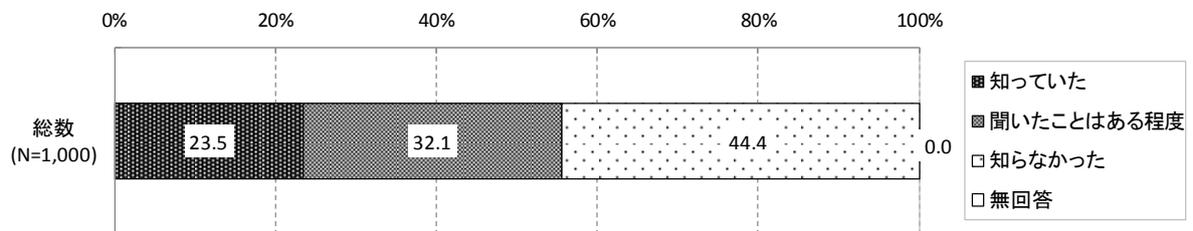
2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックで台湾の選手やチームに注目する競技を聞いたところ、「特にない」と答えた者の割合が最も高く、57.8%だった。注目する競技では、「野球」をあげた者の割合が最も高く、35.0%だった。次いで、「バドミントン」7.3%、「ソフトボール」4.6%、「陸上」4.1%、「ゴルフ」3.5%、「体操」3.3%などの順となっている。

		総数	野球	バドミントン	テニス	ゴルフ	アーチェリー	ソフト ボール	体操	陸上	重量挙げ
総数		1,000	35.0	7.3	2.1	3.5	1.4	4.6	3.3	4.1	0.9
性別	男性	488	49.8	8.2	1.8	5.3	1.4	5.3	2.7	4.3	1.0
	女性	512	20.9	6.4	2.3	1.8	1.4	3.9	3.9	3.9	0.8
年代	20歳代	119	25.2	10.1	4.2	5.0	2.5	4.2	4.2	5.0	3.4
	30歳代	146	26.7	5.5	2.1	2.1	1.4	0.7	2.1	4.1	0.0
	40歳代	184	35.3	4.9	1.6	2.2	0.5	3.8	3.3	2.2	0.5
	50歳代	153	39.2	7.8	2.0	1.3	1.3	2.6	0.7	3.3	0.0
	60歳代	170	36.5	7.6	0.0	5.9	0.6	5.3	2.9	1.8	0.6
	70歳代	142	38.7	7.0	2.1	5.6	1.4	9.2	2.8	7.0	1.4
	80歳代	86	45.3	10.5	4.7	2.3	3.5	8.1	10.5	8.1	1.2
最終 学歴	中学校	39	41.0	7.7	5.1	2.6	0.0	2.6	0.0	10.3	0.0
	高等学校	324	31.8	6.2	1.9	3.7	0.3	4.3	5.9	4.0	0.9
	短大・高専・専門学校	210	26.7	7.6	2.4	3.3	2.9	5.7	1.9	3.8	0.0
	大学・大学院	427	41.0	8.0	1.9	3.5	1.6	4.4	2.3	3.7	1.4
職業	事務職	168	33.9	5.4	0.6	2.4	1.2	1.8	3.0	3.0	0.6
	管理職	75	60.0	9.3	1.3	5.3	2.7	4.0	2.7	1.3	1.3
	専門的・技術職	133	39.1	10.5	3.0	3.8	0.0	5.3	0.8	4.5	2.3
	販売・サービス職	81	37.0	8.6	4.9	4.9	4.9	4.9	3.7	8.6	2.5
	技能・労務職	69	34.8	5.8	1.4	1.4	1.4	2.9	4.3	4.3	0.0
	農林漁業	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	主婦・主夫	256	21.9	5.5	2.7	1.6	0.8	3.9	3.5	3.1	0.8
	学生	17	17.6	11.8	0.0	11.8	5.9	11.8	5.9	5.9	0.0
	無職	193	41.5	7.8	1.6	5.7	1.0	7.8	4.1	5.2	0.0
	北海道	43	53.5	14.0	2.3	9.3	0.0	9.3	2.3	0.0	0.0
地域	東北	71	26.8	7.0	5.6	2.8	0.0	4.2	7.0	4.2	0.0
	関東	341	33.7	7.9	2.9	4.1	1.8	3.8	2.9	4.1	1.5
	中部	167	32.3	4.8	1.2	3.0	2.4	3.6	1.8	4.2	1.2
	近畿	178	32.6	5.6	1.1	2.2	0.6	5.1	4.5	5.1	0.6
	中国	58	46.6	6.9	0.0	5.2	1.7	5.2	0.0	1.7	0.0
	四国	31	35.5	9.7	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	3.2	0.0
	九州	111	38.7	9.0	1.8	2.7	0.9	7.2	4.5	5.4	0.9

		総数	その他	特にない	無回答
総数		1,000	0.9	57.8	0.2
性別	男性	488	0.8	44.9	0.0
	女性	512	1.0	70.1	0.4
年代	20歳代	119	0.0	63.9	0.0
	30歳代	146	2.1	63.7	0.0
	40歳代	184	1.1	59.2	0.0
	50歳代	153	0.7	54.9	0.0
	60歳代	170	0.6	58.8	0.0
	70歳代	142	0.0	56.3	0.0
	80歳代	86	2.3	41.9	2.3
最終 学歴	中学校	39	0.0	51.3	0.0
	高等学校	324	1.2	59.9	0.6
	短大・高専・専門学校	210	0.0	66.7	0.0
	大学・大学院	427	1.2	52.5	0.0
職業	事務職	168	0.0	60.7	0.0
	管理職	75	1.3	34.7	0.0
	専門的・技術職	133	2.3	49.6	0.0
	販売・サービス職	81	2.5	55.6	0.0
	技能・労務職	69	0.0	60.9	0.0
	農林漁業	3	0.0	66.7	0.0
	主婦・主夫	256	0.4	70.3	0.8
	学生	17	0.0	64.7	0.0
	無職	193	1.0	52.8	0.0
	北海道	43	2.3	39.5	0.0
地域	東北	71	1.4	63.4	0.0
	関東	341	1.2	58.7	0.0
	中部	167	0.0	61.7	1.2
	近畿	178	1.7	60.1	0.0
	中国	58	0.0	46.6	0.0
	四国	31	0.0	64.5	0.0
	九州	111	0.0	53.2	0.0

自然災害時等の日本と台湾双方の政府トップによる SNSを通じたお見舞い発信を知っているか

問19 近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っています。政府のトップも Facebook やツイッター等の SNS を通じて双方の国民に向けたお見舞いや励ましの言葉を寄せています。あなたは、このことを知っていましたか。(答えは1つ)

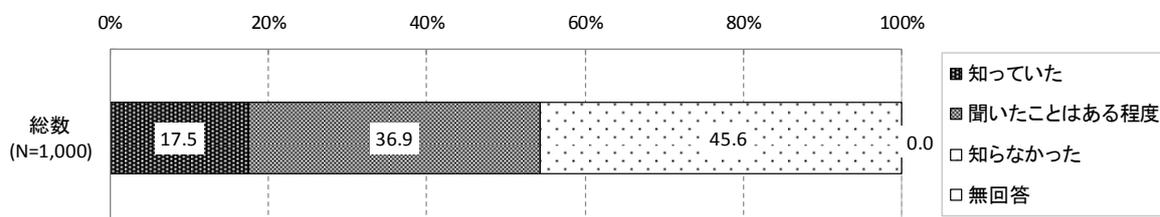


近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に相互支援を行うとともに、双方の政府のトップも SNS を通じてお見舞いや励ましの言葉を寄せていることを知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えたのは 23.5%、「聞いたことはある程度」と答えたのは 32.1%、「知らなかった」と答えたのは 44.4% だった。

		総数	知っていた	聞いたことはある程度	知らなかった	無回答
総数		1,000	23.5	32.1	44.4	0.0
性別	男性	488	28.9	34.4	36.7	0.0
	女性	512	18.4	29.9	51.8	0.0
年代	20歳代	119	22.7	26.1	51.3	0.0
	30歳代	146	23.3	18.5	58.2	0.0
	40歳代	184	18.5	28.3	53.3	0.0
	50歳代	153	19.0	35.3	45.8	0.0
	60歳代	170	22.4	36.5	41.2	0.0
	70歳代	142	27.5	44.4	28.2	0.0
	80歳代	86	39.5	37.2	23.3	0.0
	最終学歴	中学校	39	25.6	35.9	38.5
	高等学校	324	18.8	29.6	51.5	0.0
	短大・高専・専門学校	210	18.6	35.2	46.2	0.0
	大学・大学院	427	29.3	32.1	38.6	0.0
職業	事務職	168	21.4	26.2	52.4	0.0
	管理職	75	33.3	33.3	33.3	0.0
	専門的・技術職	133	30.8	34.6	34.6	0.0
	販売・サービス職	81	18.5	29.6	51.9	0.0
	技能・労務職	69	18.8	23.2	58.0	0.0
	農林漁業	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	主婦・主夫	256	17.2	32.0	50.8	0.0
	学生	17	11.8	41.2	47.1	0.0
	無職	193	30.1	39.4	30.6	0.0
	地域	北海道	43	32.6	32.6	34.9
	東北	71	22.5	29.6	47.9	0.0
	関東	341	22.0	36.1	41.9	0.0
	中部	167	21.0	34.1	44.9	0.0
	近畿	178	22.5	30.9	46.6	0.0
	中国	58	34.5	32.8	32.8	0.0
	四国	31	22.6	16.1	61.3	0.0
	九州	111	25.2	24.3	50.5	0.0

友好姉妹都市協定等による日本と台湾間の交流を知っているか

問 20 近年、日本と台湾の地方どうして、友好姉妹都市や姉妹鉄道、姉妹温泉などの交流協定が数多く締結され、共同で観光キャンペーンや相互PRをするなどの交流が行われていることを知っていましたか。(答えは1つ)



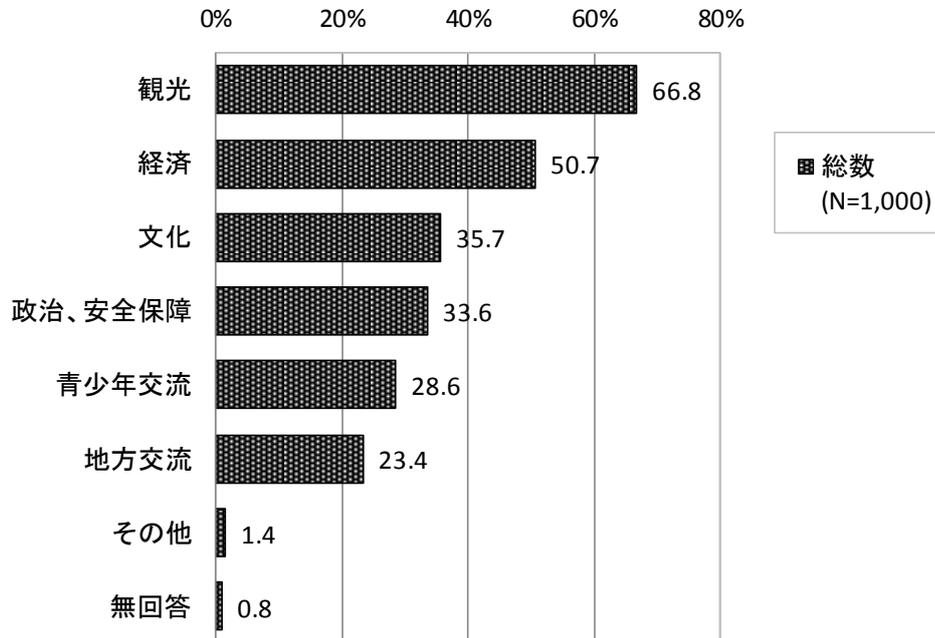
近年、日本と台湾の地方どうして、友好姉妹都市や姉妹鉄道、姉妹温泉などの交流協定が数多く締結され、共同で観光キャンペーンや相互PRをするなどの交流が行われていることを知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えたのは17.5%、「聞いたことはある程度」と答えたのは36.9%、「知らなかった」と答えたのは45.6%だった。

性別にみると、「知っていた」と答えたのは男性で22.3%、女性で12.9%となっている。「知らなかった」と答えたのは男性で37.3%、女性で53.5%となっている。

		総数	知っていた	聞いたことはある程度	知らなかった	無回答
総数		1,000	17.5	36.9	45.6	0.0
性別	男性	488	22.3	40.4	37.3	0.0
	女性	512	12.9	33.6	53.5	0.0
年代	20歳代	119	15.1	30.3	54.6	0.0
	30歳代	146	17.8	19.9	62.3	0.0
	40歳代	184	16.3	32.6	51.1	0.0
	50歳代	153	14.4	37.9	47.7	0.0
	60歳代	170	14.7	44.7	40.6	0.0
	70歳代	142	21.8	51.4	26.8	0.0
	80歳代	86	26.7	43.0	30.2	0.0
最終学歴	中学校	39	20.5	41.0	38.5	0.0
	高等学校	324	16.7	31.2	52.2	0.0
	短大・高専・専門学校	210	11.0	41.9	47.1	0.0
	大学・大学院	427	21.1	38.4	40.5	0.0
職業	事務職	168	16.1	28.6	55.4	0.0
	管理職	75	21.3	45.3	33.3	0.0
	専門的・技術職	133	24.1	32.3	43.6	0.0
	販売・サービス職	81	14.8	37.0	48.1	0.0
	技能・労務職	69	14.5	27.5	58.0	0.0
	農林漁業	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	主婦・主夫	256	12.1	36.3	51.6	0.0
	学生	17	23.5	41.2	35.3	0.0
	無職	193	21.8	48.7	29.5	0.0
地域	北海道	43	25.6	41.9	32.6	0.0
	東北	71	12.7	38.0	49.3	0.0
	関東	341	19.1	37.5	43.4	0.0
	中部	167	10.8	37.7	51.5	0.0
	近畿	178	18.5	34.8	46.6	0.0
	中国	58	20.7	46.6	32.8	0.0
	四国	31	22.6	22.6	54.8	0.0
九州	111	18.0	33.3	48.6	0.0	
参考:2018年11月(総数)		1,000	16.7	35.6	47.7	0.0

力を入れて行うべき交流の分野

問 2 1 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思えますか。
(複数回答可)



日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思うか聞いたところ、「観光」をあげた者の割合が最も高く、66.8%だった。次いで、「経済」50.7%、「文化」35.7%、「政治、安全保障」33.6%、「青少年交流」28.6%、「地方交流」23.4%の順となっている。

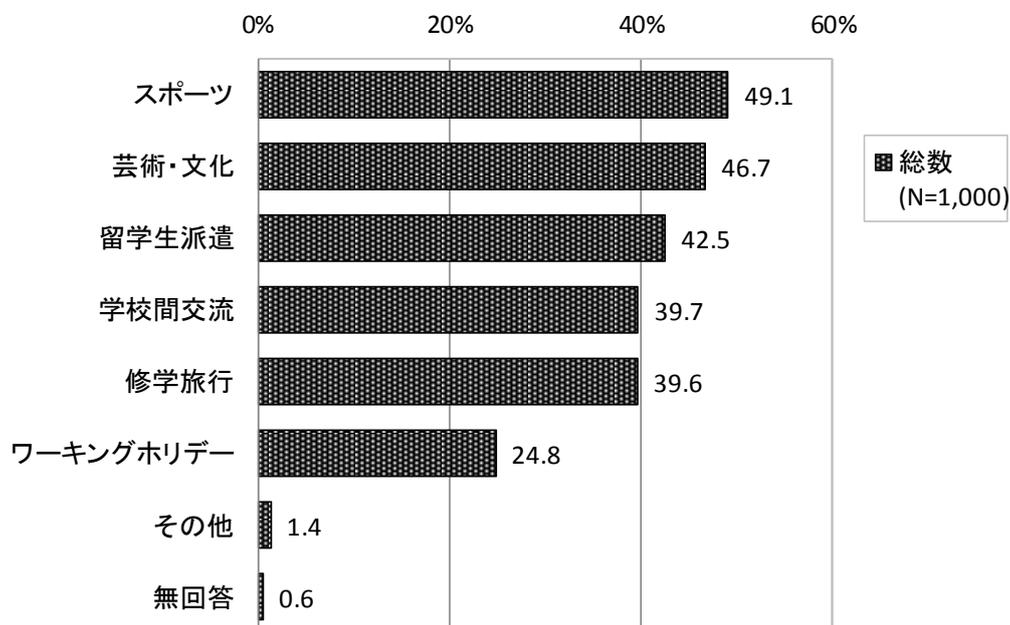
性別にみると、男性、女性ともに「観光」が1位、「経済」が2位となっている。

		総数	観光	経済	文化	青少年交流	政治、 安全保障	地方交流
総数		1,000	66.8	50.7	35.7	28.6	33.6	23.4
性別	男性	488	66.8	58.4	35.5	30.7	35.0	24.4
	女性	512	66.8	43.4	35.9	26.6	32.2	22.5
年代	20歳代	119	67.2	40.3	29.4	18.5	18.5	19.3
	30歳代	146	76.7	47.3	38.4	20.5	23.3	19.2
	40歳代	184	63.0	42.9	32.1	21.7	27.7	17.4
	50歳代	153	64.1	48.4	31.4	30.1	38.6	19.6
	60歳代	170	64.1	58.8	32.9	28.2	39.4	23.5
	70歳代	142	69.7	66.2	46.5	38.0	48.6	31.0
	80歳代	86	62.8	50.0	43.0	53.5	39.5	43.0
	最終 学歴	中学校	39	51.3	51.3	33.3	30.8	20.5
高等学校		324	67.6	49.7	31.2	28.1	38.0	24.4
短大・高専・専門学校		210	65.7	45.7	32.9	23.8	31.0	20.5
大学・大学院		427	68.1	53.9	40.7	31.1	32.8	24.6
職業	事務職	168	65.5	44.6	33.3	22.6	23.8	14.3
	管理職	75	57.3	66.7	41.3	30.7	41.3	28.0
	専門的・技術職	133	70.7	50.4	37.6	28.6	34.6	27.1
	販売・サービス職	81	63.0	50.6	28.4	27.2	22.2	18.5
	技能・労務職	69	63.8	47.8	29.0	18.8	34.8	18.8
	農林漁業	3	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3
	主婦・主夫	256	69.9	46.1	37.5	29.7	38.7	23.0
	学生	17	52.9	47.1	29.4	11.8	11.8	23.5
	無職	193	68.4	57.0	38.9	37.8	38.9	31.6
	地域	北海道	43	79.1	60.5	23.3	30.2	39.5
東北		71	73.2	45.1	26.8	28.2	29.6	26.8
関東		341	65.7	47.8	37.8	29.0	33.1	20.5
中部		167	64.7	47.3	39.5	31.1	35.9	21.6
近畿		178	62.9	57.3	33.7	29.8	33.7	27.5
中国		58	69.0	60.3	32.8	27.6	37.9	25.9
四国		31	64.5	51.6	32.3	16.1	29.0	22.6
九州		111	70.3	48.6	39.6	25.2	30.6	23.4
参考:2018年11月(総数)		1,000	64.6	52.8	39.8	29.2	41.8	24.2

		総数	その他	無回答
総数		1,000	1.4	0.8
性別	男性	487	1.0	0.0
	女性	513	1.8	1.6
年代	20歳代	122	0.0	0.0
	30歳代	149	0.7	0.0
	40歳代	187	3.3	0.0
	50歳代	148	0.7	0.0
	60歳代	177	2.4	0.0
	70歳代	136	1.4	0.0
	80歳代	81	0.0	9.3
	最終 学歴	中学校	36	2.6
高等学校		338	2.2	0.9
短大・高専・専門学校		205	1.4	0.5
大学・大学院		420	0.7	0.0
職業	事務職	186	2.4	0.0
	管理職	69	4.0	0.0
	専門的・技術職	136	1.5	0.0
	販売・サービス職	80	0.0	0.0
	技能・労務職	75	1.4	0.0
	農林漁業	9	0.0	0.0
	主婦・主夫	242	1.2	1.6
	学生	15	0.0	0.0
	無職	184	0.5	2.1
地域	北海道	42	0.0	0.0
	東北	73	0.0	2.8
	関東	337	1.2	1.2
	中部	169	1.2	0.0
	近畿	178	2.8	0.0
	中国	57	0.0	1.7
	四国	31	0.0	3.2
	九州	113	2.7	0.0
参考:2018年11月(総数)		1,000	1.4	0.7

青少年交流で促進すべき分野

問22 日本と台湾両政府は、相互理解を深めることを目的に、青少年の交流事業を継続して行ってきました。日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に促進すべきだと思いますか。(複数回答可)



日本と台湾両政府が、相互理解を深めることを目的に行っている青少年の交流事業について、どの分野を特に促進すべきだと思うか聞いたところ、「スポーツ」をあげた者の割合が最も高く、49.1%だった。次いで、「芸術・文化」46.7%、「留学生派遣」42.5%、「学校間交流」39.7%、「修学旅行」39.6%、「ワーキングホリデー」24.8%の順となっている。

		総数	修学旅行	スポーツ	芸術・文化	学校間交流	留学生派遣	ワーキング ホリデー
総数		1,000	39.6	49.1	46.7	39.7	42.5	24.8
性別	男性	488	42.8	51.4	46.9	40.8	43.9	24.0
	女性	512	36.5	46.9	46.5	38.7	41.2	25.6
年代	20歳代	119	46.2	42.9	42.0	32.8	35.3	18.5
	30歳代	146	47.3	45.9	39.0	36.3	34.9	24.0
	40歳代	184	33.7	46.7	35.9	34.8	35.9	20.1
	50歳代	153	34.6	49.7	51.6	35.9	43.8	24.2
	60歳代	170	31.8	50.0	47.6	42.4	44.7	24.7
	70歳代	142	38.0	54.2	59.2	49.3	50.0	32.4
	80歳代	86	57.0	57.0	58.1	51.2	60.5	33.7
	最終 学歴	中学校	39	61.5	46.2	35.9	38.5	46.2
高等学校		324	38.0	50.0	46.6	38.0	40.1	23.5
短大・高専・専門学校		210	37.6	41.9	44.8	37.6	37.1	24.8
大学・大学院		427	39.8	52.2	48.7	42.2	46.6	26.7
職業	事務職	168	38.7	44.6	37.5	39.3	41.7	28.0
	管理職	75	38.7	56.0	40.0	42.7	41.3	24.0
	専門的・技術職	133	44.4	53.4	51.1	31.6	38.3	25.6
	販売・サービス職	81	44.4	49.4	48.1	43.2	42.0	18.5
	技能・労務職	69	36.2	39.1	40.6	33.3	43.5	17.4
	農林漁業	3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0
	主婦・主夫	256	33.2	48.0	48.4	41.8	44.9	24.6
	学生	17	47.1	41.2	23.5	35.3	35.3	5.9
	無職	193	43.0	52.3	55.4	44.0	44.6	30.1
	地域	北海道	43	48.8	55.8	39.5	32.6	46.5
東北		71	42.3	46.5	54.9	45.1	40.8	23.9
関東		341	41.3	47.8	43.1	39.0	41.3	24.6
中部		167	38.3	52.1	52.1	39.5	43.1	22.2
近畿		178	33.1	48.9	44.9	40.4	44.4	26.4
中国		58	36.2	58.6	44.8	43.1	48.3	27.6
四国		31	35.5	38.7	45.2	29.0	32.3	22.6
九州		111	44.1	45.9	51.4	41.4	41.4	24.3
参考:2018年11月(総数)		1,000	36.6	46.1	55.2	40.8	42.3	-

		総数	その他	無回答
総数		1,000	1.4	0.6
性別	男性	487	1.4	0.0
	女性	513	1.4	1.2
年代	20歳代	122	0.0	0.0
	30歳代	149	2.1	0.0
	40歳代	187	2.7	0.0
	50歳代	148	0.7	0.0
	60歳代	177	1.8	0.0
	70歳代	136	1.4	0.0
	80歳代	81	0.0	7.0
	最終 学歴	中学校	36	5.1
高等学校		338	1.2	0.6
短大・高専・専門学校		205	1.9	0.5
大学・大学院		420	0.9	0.0
職業	事務職	186	1.8	0.0
	管理職	69	4.0	0.0
	専門的・技術職	138	2.3	0.0
	販売・サービス職	82	0.0	0.0
	技能・労務職	75	1.4	0.0
	農林漁業	9	0.0	0.0
	主婦・主夫	242	0.8	0.8
	学生	15	0.0	0.0
	無職	184	1.0	2.1
地域	北海道	42	2.3	0.0
	東北	73	0.0	1.4
	関東	337	1.5	0.6
	中部	169	0.6	0.0
	近畿	178	2.8	0.6
	中国	57	0.0	0.0
	四国	31	0.0	3.2
	九州	113	1.8	0.9
参考:2018年11月(総数)		1,000	1.7	0.6

(参考値は2018年調査と2019年調査で
同一の選択肢を用いたもののみ表示)

◎ 結論

以下では、調査結果を「台湾に対する親しみ・信頼」、「台湾に対する関心のあり方」、「訪台経験」、「台湾に関する知識」、「日本と台湾の関係」という5つの観点から、2018年11月調査の結果との比較を交えながら考察した。

1 台湾に対する親しみ・信頼

台湾に対して親しみを感じるか聞いたところ、78.1%の者が親しみを感じており¹（問7）、その主な理由としては「台湾人が親切、友好的」が77.6%、「歴史的に交流が長い」が46.0%、「東日本大震災時に支援を行ったから」が36.2%などとなっている（問8）。これは、2018年調査での上位3位と同じ結果であった。台湾人に対する見方に大きな変化はなく、引き続き好意的なイメージで見られているといえる。

一方、親しみを感じない²と答えたのは6.1%だった（問7）。親しみを感じない理由としては、「台湾人観光客のマナーの問題」が49.2%、「漁業問題」が18.0%、「台湾人の日本での犯罪問題」が14.8%などとなっている（問9）。「その他」が34.4%と多数であったが、その具体的な内容としては、「関係がない」、「興味がない」、「よく知らない」などとなっている。

信頼感についても「親しみ」と同様の傾向が見られ、6割を超える者が「信頼できる」³と答えている（問11）。その理由としては、「日本に友好的だから」をあげた者が66.6%と最も多く、次いで「自由・民主主義などの価値観を有している」が53.7%と多かった（問12）。一方、信頼できない⁴と答えている者は2.9%と少数だった（問11）。

アジア諸国間での位置づけをみるため「台湾・中国・韓国・タイ・それ以外」を選択肢として、どの国にもっとも親しみを感じるか聞いたところ、「台湾」と答えた者の割合が55.0%と最も高かった（問1）。

総じて、日本人の台湾に対する信頼感、親しみを感じる程度は高く、東アジア諸国間の中でも特に親しみを感じる者が多いことが伺える。これらは2018年調査でもっとも親しみを感じるアジアの国として台湾をあげた者がおよそ6割、「親しみを感じる」が7割、「信頼できる」がおよそ6割といずれも多数であったのと同様の傾向であった。2016年調査から通して見ても傾向に大きな変化はなく、安定して親しみ・信頼を得、良好なイメージを保っているといえる。

1 問7：「親しみを感じる」＋「どちらかという親しみを感じる」の合計

2 問7：「親しみを感じない」＋「どちらかという親しみを感じない」の合計

3 問11：「非常に信頼できる」＋「信頼できる」の合計

4 問11：「信頼できない」＋「非常に信頼できない」の合計

2 台湾に対する関心のあり方

男女ともに、今後台湾に「行きたい」と回答した者は57.3%だった。「行きたくない」と答えた者は約1割と低かった（問5）。

「行きたい」と答えた者に、台湾のどのような分野に興味があるか聞いたところ、「食文化」をあげた者が8割を超え最も高かった。

興味がある分野の2位は「歴史・史跡・寺廟」（56.0%）、3位は「自然・風土」（51.0%）で、いずれもすべての年代で4割以上と興味が高かった。2018年調査でも「食文化」が約8割と最も高く、「自然・風土」、「歴史・史跡・寺廟」が続いていたのとほぼ同様だった。

台湾と聞いて思いつくことを答えてもらったところ、「日本に友好的」をあげた者の割合が最も高く、76.8%だった。続いて「食べ物がおいしい」が52.1%、「日本と歴史的なつながりがある」が40.9%、「観光地が豊富」34.4%の順であった。「日本に友好的」、「食べ物がおいしい」、「観光地が豊富」はすべての年代で多くの回答を集めているが、50歳代から80歳代ではそれらに加え、「日本と歴史的なつながりがある」、「経済が発展している」、「自由・民主主義の国」といった歴史・政治経済に関するイメージもあげている者の割合も高い。2018年調査で上位1位から3位は「日本に友好的」、「食べ物がおいしい」、「日本と歴史的なつながりがある」であったのと同様の順位、傾向の結果となった。

全体として、主に食や娯楽面、歴史や風土の面で一定の関心と呼んでおり、約半数が訪台への興味を持つことにつながっていると推測される。

3 訪台経験

台湾に行ったことがあるか聞いたところ、26.9%の者が「行ったことがある」と回答した。年代別にみると、「行ったことがある」と答えた者の割合は、60歳代以上で3割台と高くなっていった。一方、20歳代から50歳代で「行ったことがある」と答えたのは2割前後となっている（問3）。2018年調査で「行ったことがある」者は28.3%、60歳代以上で3割台と比較的高かったのと同様の傾向であった。

訪台経験のある者に、その回数を聞いたところ、「1回」と答えた者が60.2%、「2回」と答えた者が19.3%、「3回または4回」と答えた者が10.8%、「5回～9回」と答えた者が4.5%、「10回以上」と答えた者が5.2%だった。性別にみると、女性では2回以上台湾を訪れた者は約2割であるのに対し、男性では約5割だった。（問3付問1）。

訪台経験のある者に、最近3年間で台湾に行ったことがあるか聞いたところ、33.5%が最近3年間で台湾に行ったと回答した（問3付問2）。これを標本全体における割合でみると、最近3年間で台湾に行った者は9.0%、最近3年間より前に台湾に行ったことがある者は17.9%となった。標本全体を年代別にみると、20歳代から70歳代の1割前後が最近3年間で台湾に行ったことがあり、20歳代では訪台経験のある者のうち6割以上が最近3年間で訪れたことが分かった。

訪台経験のある者に、訪れたことのある場所を聞いたところ、「台北」をあげた者の割合が最も高く、96.7%だった。次いで、「高雄」40.5%、「台中」30.9%などとなっており（問4）、2018年調査での上位3位と同様であった。

総合すると、約4人に1人が台湾に1度は行ったことがあり、約10人に1人が最近3年間で訪台していること、また、訪台経験者のうちほぼ全員が台北を訪れており、高雄や台中がポピュラーな行先であることが分かる。

4 台湾に関する知識

台湾に関する知識として、「台北駐日経済文化代表処」、「自然災害時等の日台政府トップによるSNSを通じたお見舞い発信」、「友好姉妹都市協定等による交流」について知っているか聞いた。

台北駐日経済文化代表処を「知っている」と答えた者は5.5%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えた者は23.2%、「知らない」と答えた者は71.3%だった。性別にみると、「知っている」と答えた者は男性で8.6%、女性で2.5%と、男性の方が認知度が高かった（問14）。2018年調査で「知っている」と答えた者が6.8%、「知らない」と答えた者が68.7%であったのと同様の傾向である。

近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故が発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っているが、政府のトップもSNSを通じて双方の国民に向けたお見舞いや励ましの言葉を寄せていることについて知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えた者は23.5%、「聞いたことはある程度」と答えた者は32.1%、「知らなかった」と答えた者は44.4%だった（問19）。

近年、日本と台湾の地方どうしで、友好姉妹都市や姉妹鉄道、姉妹温泉などの交流協定が数多く締結され、共同で観光キャンペーンや相互PRをするなどの交流が行われていることを知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えた者は17.5%、「聞いたことはある程度」と答えた者は36.9%、「知らなかった」と答えた者は45.6%だった。性別にみると、「知っている」割合は男性（22.3%）の方が女性（12.9%）より高かった（問20）。

総じて、台湾と日本が相互に助け合うようなポジティブな事柄について、一定の割合で聞いたことがある程度以上の認知がされているといえる。

5 日本と台湾の関係

現在の日本と台湾の関係について聞いたところ、74.9%が「よい」⁵と答えた（問15）。日本と台湾の今後の関係については、「発展する」⁶と答えた者が57.8%だった（問16）。両項目について、年代別にみても「よい」「発展する」という回答が多い傾向に違いはみられない。2018年調査で「よい」が71.0%、「発展する」が59.3%であったのと同じ傾向がみられる。

日台間で最も懸念される問題について聞いたところ、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」と答えた者が36.2%で最も多く、次に「（問題は）ない」と答えた者が26.6%で多かった（問17）。3位以下は「漁業問題」、「経済面での競合関係」、「台湾が福島周辺県の食品の輸入を制限している問題」と続くが、いずれも回答した者の割合は10%未満となっている。

日本と台湾が力を入れて行うべき交流の分野を聞いたところ、「観光」をあげた者の割合が66.8%と最も高かった。次いで、「経済」50.7%、「文化」35.7%などとなっている（問21）。2018年調査の上位は「観光」64.6%、「経済」52.8%、「政治、安全保障」41.8%となっており、2019年調査でも概ね同じ順位となった。

⁵ 問15：「よい」＋「どちらかといえばよい」の合計

⁶ 問16：「発展する」＋「ある程度発展する」の合計

政府レベルで行われている青少年の交流事業について促進すべき分野を聞いたところ、「スポーツ」をあげた者の割合が49.1%と最も高かった。次いで、「芸術、文化」46.7%、「留学生派遣」42.5%などとなっている（問22）。

全体的にみると、2018年調査結果にみられた傾向を引き継いでおり、現在の日本と台湾の関係を良好であると捉える者が多数であり、今後についても、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」をはじめとする懸念事項はあるものの、多くの者が「関係は発展する」と考える傾向にあることが読み取れる。

6 2020年東京オリンピック・パラリンピックでの台湾への関心

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックで、どの競技で台湾の選手やチームに注目するかたずねたところ、「特にない」との回答が約6割となり、最も多かった。注目する競技としては、「野球」(35.0%)が最も高く、次いで「バドミントン」(7.3%)、「ソフトボール」(4.6%)となった（問18）。野球は日本での競技人気も高く、日本で活躍する台湾人選手も多いことから、特に注目を集めることが予想される。

◎ 調査項目一覧

質問	選択肢
<p>問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感じるのはどこですか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 台湾 2 中国 3 韓国 4 タイ 5 上記以外</p>
<p>【問1で「5上記以外」と答えた方に】 問1付問 具体的にどの国・地域ですか。</p>	<p>自由回答</p>
<p>問2 あなたが「台湾」と聞いて思いつくことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。 (複数回答可)</p>	<p>1 日本に友好的 2 自由・民主主義の国 3 経済が発展している 4 食べ物がおいしい 5 観光地が豊富 6 日本と歴史的なつながりがある 7 台湾製の商品が良い 8 多くの台湾人観光客が日本を訪れている 9 台湾は多様な文化を有している 10 その他</p>
<p>問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 ある 2 ない</p>
<p>【問3で「1ある」と答えた方に】 問3付問1 あなたは、これまでに何度台湾を訪れましたか。</p>	
<p>【問3で「1ある」と答えた方に】 問3付問2 あなたは、最近3年間で台湾に行ったことがありますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 ある 2 ない</p>
<p>【問3で「1ある」と答えた方に】 問4 あなたがこれまでに訪れたことのある地域を次の中からすべてお答えください。 (複数回答可)</p>	<p>1 台北 2 新北 3 新竹 4 台中 5 南投 6 嘉義 7 台南 8 高雄 9 台東 10 花蓮 11 台湾本島以外の離島 12 その他</p>

質問	選択肢
問5 今後台湾に行きたいですか。 (答えは1つ)	1 行きたい 2 どちらともいえない 3 行きたくない
【問5で「1行きたい」と答えた方に】 問6 台湾のどのような分野に興味がありますか。 次の中からあてはまるものをすべてお答えください。 (複数回答可)	1 自然・風土 2 政治・経済 3 食文化 4 歴史・史跡・寺廟 5 伝統行事 (ランタンフェスティバルなど) 6 ショッピング 7 美容・医療(漢方・鍼灸を含む) 8 ポップカルチャー(音楽、映画、マンガ) 9 鉄道・交通 10 先住民族文化・客家文化 11 その他
問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。 (答えは1つ)	1 親しみを感じる 2 どちらかというと親しみを感じる 3 どちらともいえない 4 どちらかというと親しみを感じない 5 親しみを感じない
【問7で「1親しみを感じる」「2どちらかという と親しみを感じる」と答えた方に】 問8 親しみを感じる理由は何ですか。 (複数回答可)	1 台湾人が親切、友好的 2 経済的な結びつきが強い 3 文化面での共通性がある 4 歴史的に交流が長い 5 東日本大震災時に支援を行ったから 6 台湾製の商品を愛用しているから 7 漢字を使っているから 8 日本語が話せる台湾人が多いから 9 その他
【問7で「4どちらかというと親しみを感じない」 「5親しみを感じない」と答えた方に】 問9 親しみを感じない理由は何ですか。(複数回 答可)	1 漁業問題 2 経済面での競合関係 3 領土問題 4 歴史問題 5 台湾人の日本での犯罪問題 6 台湾人観光客のマナーの問題 7 その他

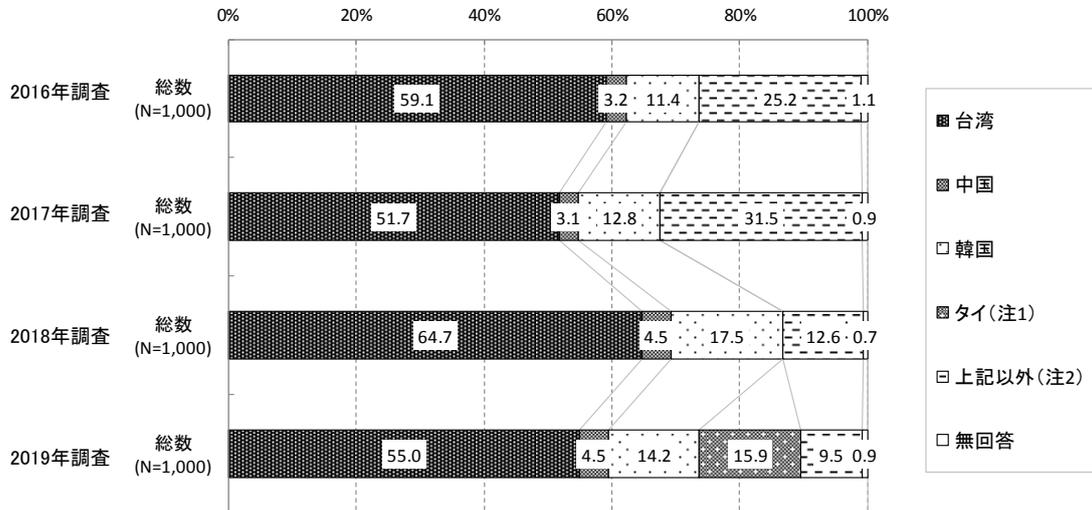
質問	選択肢
<p>問 10 台湾に関する情報を、あなたは主にどこから得ていますか。（複数回答可）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 テレビ 2 インターネット 3 SNS 4 新聞・雑誌・書籍 5 訪台経験 6 家族・親戚 7 台湾の友人・知人 8 日本の友人・知人 9 学校教育 10 日本での台湾関連の各種イベント 11 その他
<p>【問 10 で「1 テレビ」と答えた方に】 問 10 付問 あなたは、どのような番組で台湾に関する情報を得ていますか。（複数回答可）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ニュース 2 情報番組（ワイドショー） 3 バラエティー 4 世界各地を紹介する番組 5 台湾を紹介する番組 6 台湾のドラマ・映画 7 スポーツ 8 その他
<p>問 11 あなたは、台湾は信頼できると考えますか。 （答えは1つ）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 非常に信頼できる 2 信頼できる 3 どちらともいえない 4 信頼できない 5 非常に信頼できない
<p>【問 11 で「1 非常に信頼できる」「2 信頼できる」と答えた方に】 問 12 信頼できる理由は何ですか。 （複数回答可）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自由・民主主義などの価値観を有している 2 平和な国だから 3 経済・貿易パートナーだから 4 台湾政府の安全保障政策 5 豊かな伝統文化があるから 6 地理的な近さ 7 歴史的なつながり 8 日本に友好的だから 9 その他
<p>【問 11 で「4 信頼できない」「5 非常に信頼できない」と答えた方に】 問 13 信頼できない理由は何ですか。 （複数回答可）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁業問題 2 経済面での競合関係 3 領土問題 4 歴史問題 5 知的財産権問題 6 その他

質問	選択肢
<p>問14 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。</p> <p>(答えは1つ)</p>	<p>1 知っている 2 聞いたことはあるが、あまり知らない 3 知らない</p>
<p>問15 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)</p>	<p>1 よい 2 どちらかといえばよい 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば悪い 5 悪い</p>
<p>問16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか。(答えは1つ)</p>	<p>1 発展する 2 ある程度発展する 3 変わらない 4 ある程度悪化する 5 悪化する 6 わからない</p>
<p>問17 日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うのはどれですか。</p> <p>(答えは1つ)</p>	<p>1 漁業問題 2 経済面での競合関係 3 領土問題 4 歴史問題 5 知的財産権問題 6 台湾海峡情勢(台湾と中国との関係)による日本への影響 7 台湾が福島周辺県の食品の輸入を制限している問題 8 その他 9 ない</p>
<p>問18 来年開催される東京オリンピック・パラリンピックには、台湾の選手も多数参加することになっており、日本各地のホストタウンで台湾選手の合宿の受け入れも行われます。あなたは、東京オリンピック・パラリンピックのどの競技で、台湾の選手やチームに注目しますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1 野球 2 バドミントン 3 テニス 4 ゴルフ 5 アーチェリー 6 ソフトボール 7 体操 8 陸上 9 重量挙げ 10 その他 11 特にない</p>

質問	選択肢
<p>問 19 近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っていますが、政府のトップも Facebook や ツイッター等の SNS を通じて双方の国民に向けたお見舞いや励ましの言葉を寄せています。あなたは、このことを知っていましたか。</p> <p>(答えは1つ)</p>	<p>1 知っていた 2 聞いたことはある程度 3 知らなかった</p>
<p>問 20 近年、日本と台湾の地方どうしで、友好姉妹都市や姉妹鉄道、姉妹温泉などの交流協定が数多く締結され、共同で観光キャンペーンや相互PRをするなどの交流が行われていることを知っていましたか。</p> <p>(答えは1つ)</p>	<p>1 知っていた 2 聞いたことはある程度 3 知らなかった</p>
<p>問 21 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思えますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1 観光 2 経済 3 文化 4 青少年交流 5 政治、安全保障 6 地方交流 7 その他</p>
<p>問 22 日本と台湾両政府は、相互理解を深めることを目的に、青少年の交流事業を継続して行ってきました。日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に促進すべきだと思えますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<p>1 修学旅行 2 スポーツ 3 芸術・文化 4 学校間交流 5 留学生派遣 6 ワーキングホリデー 7 その他</p>

◎ 主要質問時系列グラフ（2016年調査～2019年調査）

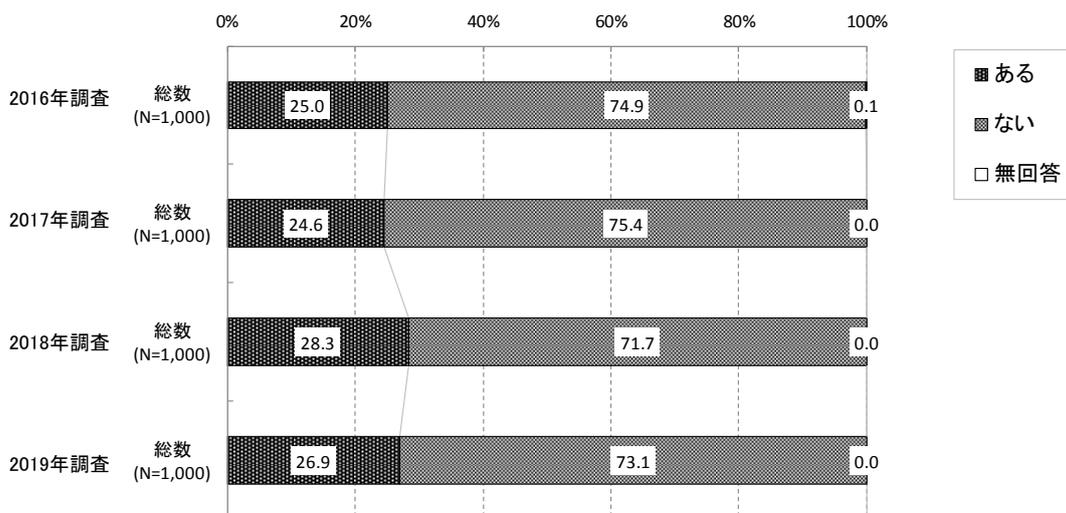
問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感ずるのはどこですか。（答えは1つ）



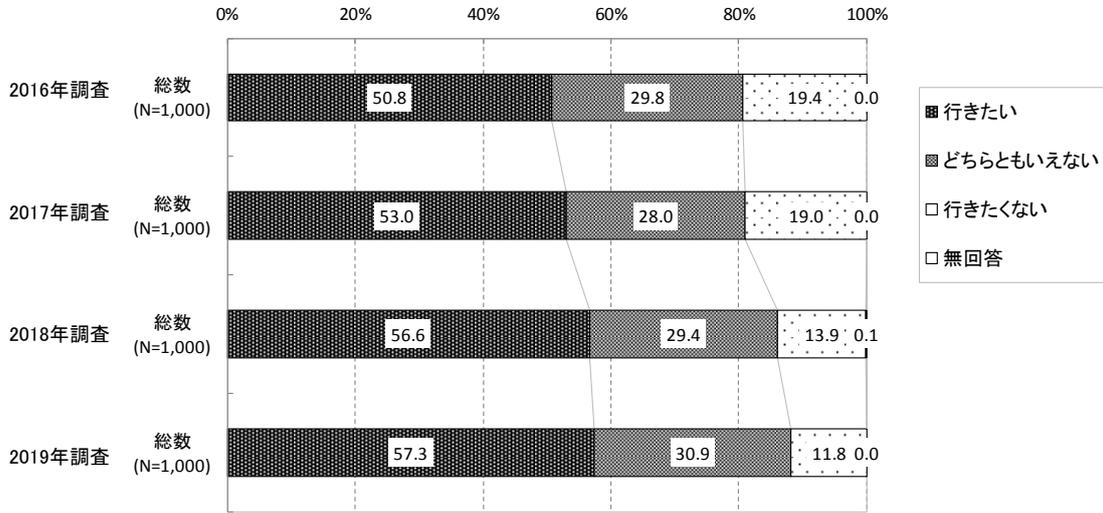
(注1) 2019年調査より選択肢を追加

(注2) 2016年～2018年：上記（台湾・中国・韓国）以外
2019年：上記（台湾・中国・韓国・タイ）以外

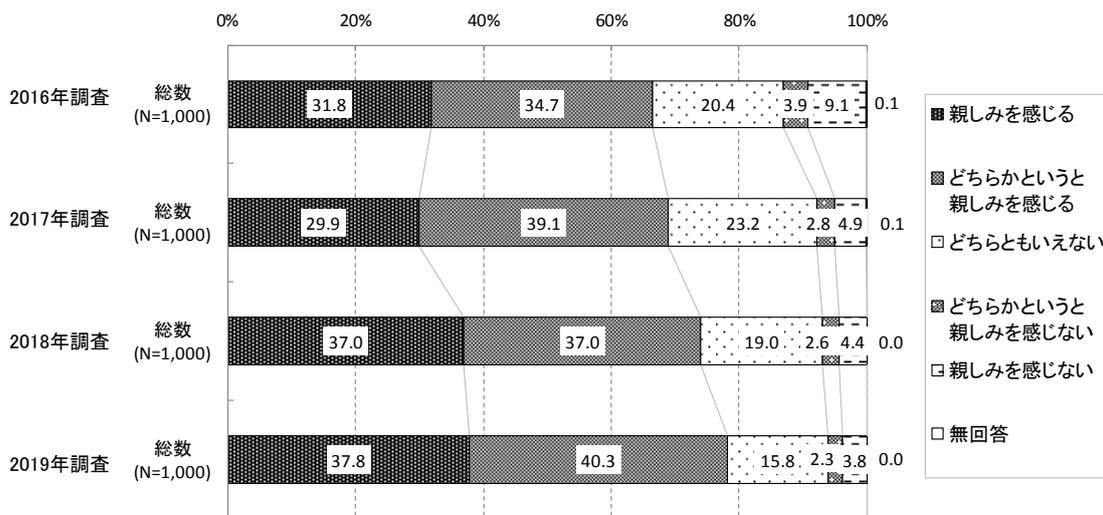
問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。（答えは1つ）



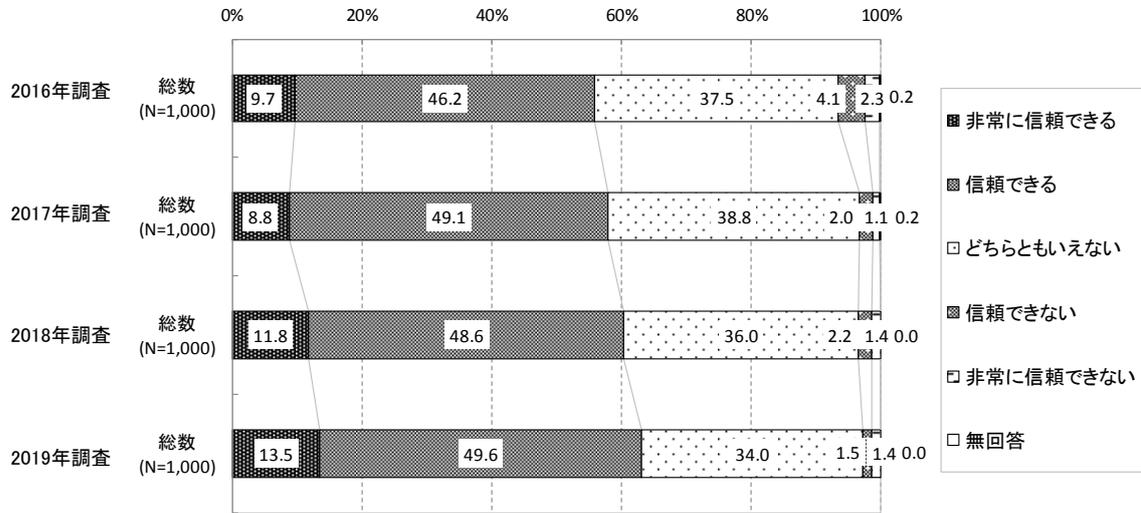
問5 今後台湾に行きたいですか。(答えは1つ)



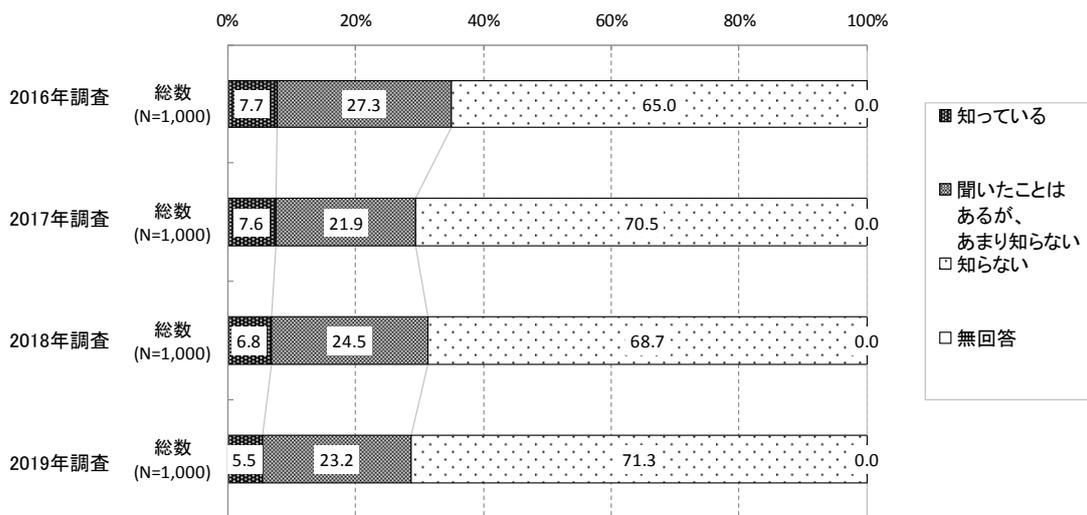
問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。(答えは1つ)



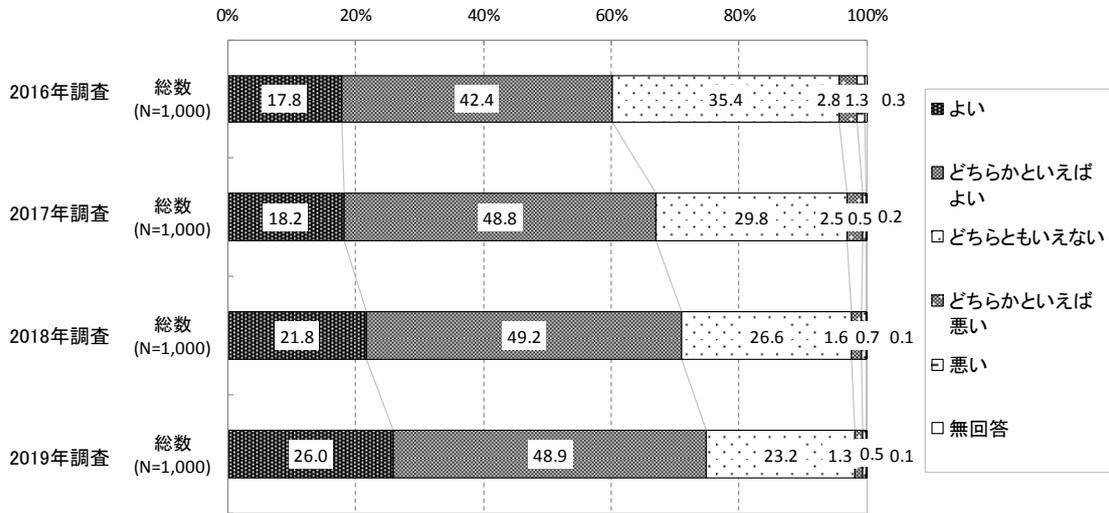
問 1 1 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)



問 1 4 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)



問15 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)



問16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか。(答えは1つ)

